INAX

保証書付

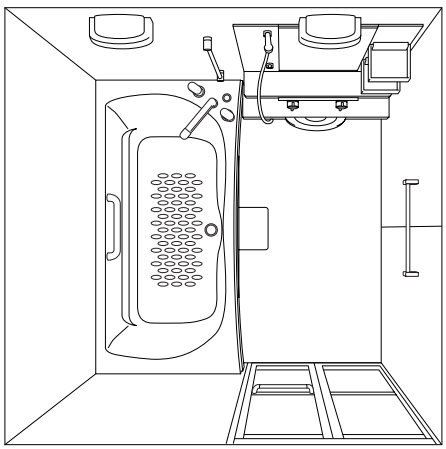
システムバスルーム

i-bath（あいばす） 2003

BUDM	1624	TBGH,TBUH,LBUL,TBSH,CBSM,LBSL,LBEH,LBEL
BUDT	1620	TBGH,TBUH,LBUL,TBSH,CBSM,LBSL,LBEH,LBEL
BUFM	1616	TBGH,TBUH,LBUL,TBSH,CBSM,LBSL,LBEH,LBEL
BUFT	1216	TBUH,LBUL,TBSH,CBSM,LBSL,LBEH,LBEL
	1818	TBUH,LBUL,TBSH,CBSM,LBSL,LBEH,LBEL
	1618	TBUH,LBUL,TBSH,CBSM,LBSL,LBEH,LBEL
BUDS	1624	TBSH,CBSM,LBSL
BUFS	1620	TBSH,CBSM,LBSL
	1616	TBSH,CBSM,LBSL
	1818	TBSH,CBSM,LBSL
	1618	TBSH,CBSM,LBSL

取扱説明書

この度は当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございました。
このシステムバスルームを美しく、また快適にご愛用いただくために、ご使用前にはこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。



この取扱説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承願います。

※ この取扱説明書と水栓、機器類の取扱説明書は、必要なときにすぐ取り出せるところに保管してください。

※ 転居される場合、次に入居される方に、この取扱説明書をお渡しください。

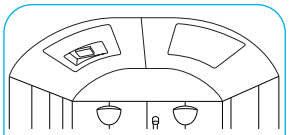
施工者の皆様へ
この取扱説明書は必ずお客さまにお渡しください。

もくじ

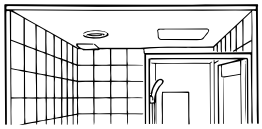
各部のなまえ……1
安全上のご注意……4
使用時のご注意……8
ご使用方法
排水栓について……12
水栓について……13
洗い場でお湯を使う……14
ルミナスサーモ水栓について……16
浴槽にお湯をためる……19
ドアの施錠・解錠と取外方……22
オプション機能
風呂フタの使い方……27
換気扇の使い方……27
換気乾燥暖房機の使い方……28
除菌イオン換気乾燥暖房機の使い方……29
換気乾燥暖房システムの使い方……30
換気乾燥暖房システム・2室暖房タイプ（洗面室暖房機部分）の使い方……31
温水式換気乾燥暖房機の使い方……32
温水式換気乾燥暖房機・2室暖房タイプ（洗面室暖房機部分）の使い方……33
オート暖房の使い方……34
ランドリーパイプの取付方……35
アクアジェットの使い方……35
あわリズムの使い方……36
ヒーリングライトの使い方……37
お掃除シャワーの使い方……40
サーモフロアについて……40
浴室テレビの使い方……41
スイッチ付ＣＣ（塩素除去）シャワーの使い方……42
スイッチ付マッサージシャワーの使い方……43
曇り止め機能付ミラーの使い方……44
即湯システムの使い方……44
全身シャワーの使い方……45
お手入れ方法
入浴後のお手入れ……46
日頃のお手入れ……46
週一回程度のお手入れ……48
月一度のお手入れ……51
念入りなお手入れ……53
長くお使いいただくために
シャワーや吐水口からの水量が少なくなったと感じたら……56
照明用ランプの交換……59
交換部品のご案内……67
冬期凍結の恐れがある場合……68
故障かな？と思ったら……70
アフターサービスについて……73
品番を調べる・廃棄について……76

各部のなまえ

天　井

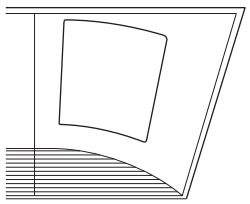


ハイドーム天井

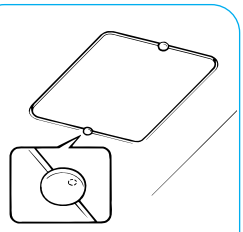


平天井

点検口

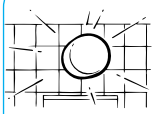


ハイドーム天井点検口

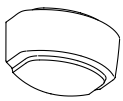


天井点検口

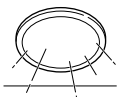
照明器具



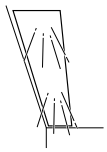
円筒形照明



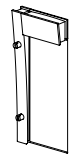
間接照明



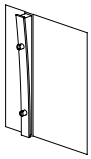
ダウンライト



天井埋込照明

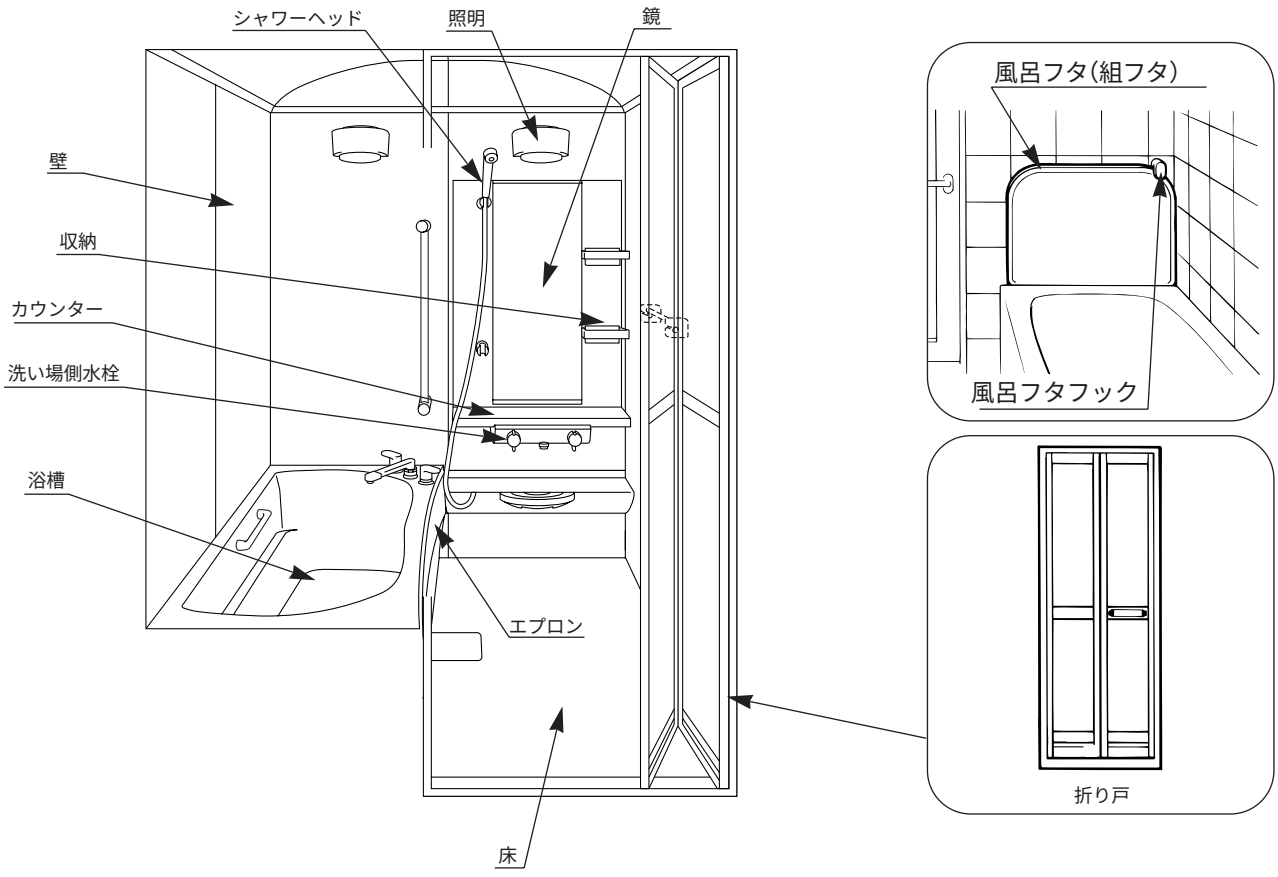


フェイスライト



フェイスライト

フェイスライト

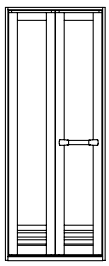


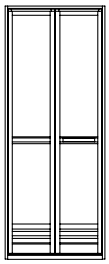
※ご使用いただくシステムバスルームは上記イラストと異なる場合があります。

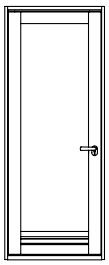
⚠ 注意

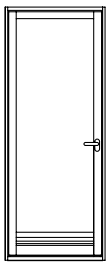
点検口は電気配線や配管関係等に異常が起きた場合、開けて点検・修理するためのものです。
ご自身で開けたり、天井裏に物等を置かないでください。
※**火災・感電や漏水の原因**となります。

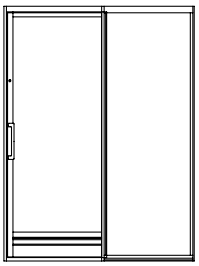
ドア

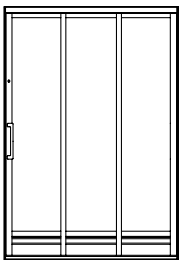

折り戸（高級タイプ）

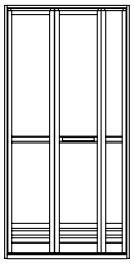

折り戸

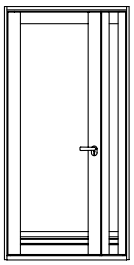

開き戸（高級タイプ）


開き戸

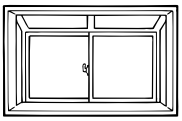

片引き戸

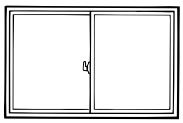

3枚引き戸

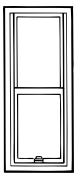

親子折り戸

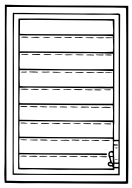

親子開き戸

窓

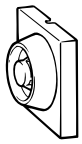

出窓

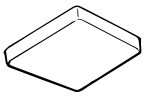

引き違い窓


上下昇降窓

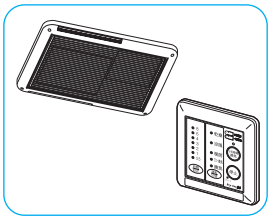

可動ルーバー窓

換気設備

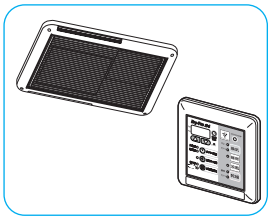

壁付換気扇


天井換気扇

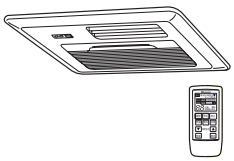
換気乾燥暖房機



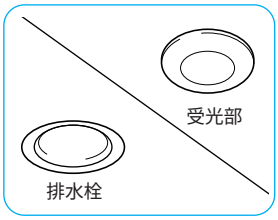
除菌イオン換気乾燥暖房機



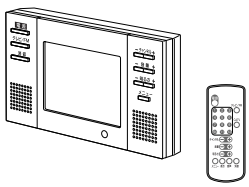
温水式換気乾燥暖房機



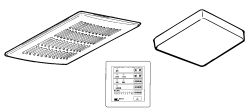
オート排水栓

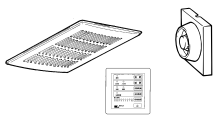


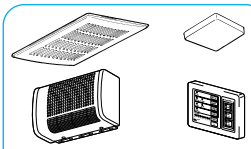
浴室テレビ

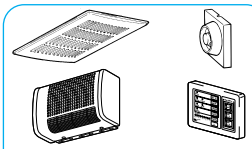


換気乾燥暖房システム

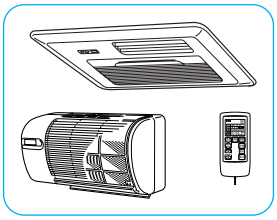

天井換気扇セット
100V、200V


壁付換気扇セット
100V、200V

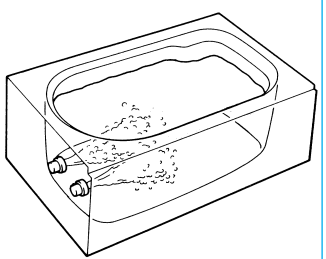

2室暖房タイプ天井換気扇セット
100V、200V


2室暖房タイプ壁付換気扇セット
100V、200V

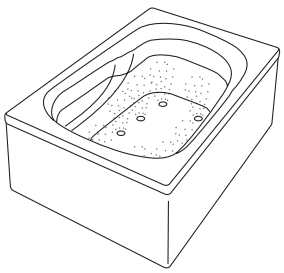
2室暖房タイプ温水式換気乾燥暖房機



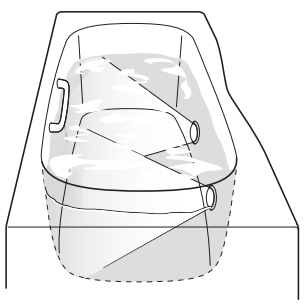
アクアジェット



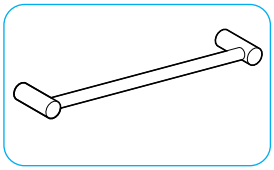
あわリズム



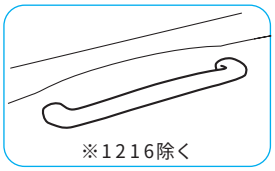
ヒーリングライト



壁付用握りバー



浴槽用握りバー

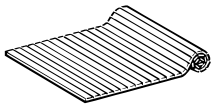

※1216除く

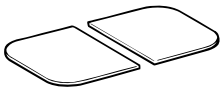
プッシュワンウェイ排水栓

内蔵型

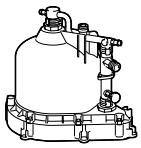
外付型

風 呂 フ タ

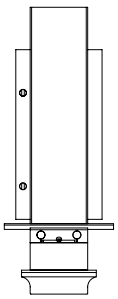
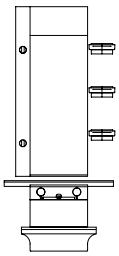
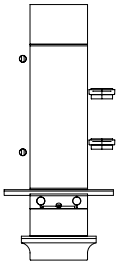
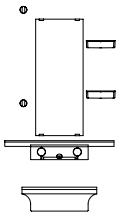
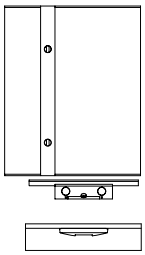
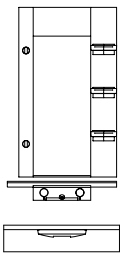
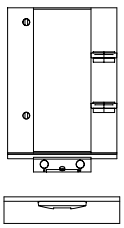
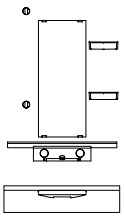

巻フタ


組フタ

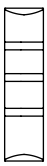
即湯システム

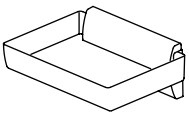


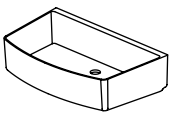
内　　装

モ　ダ　ン				トラディショナル			
							
MG収納	MU収納	MS収納	E収納	TG収納	TU収納	TS収納	E収納

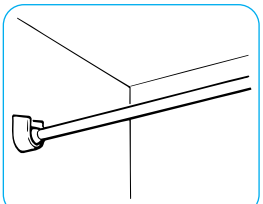
収　　納


埋込収納


平付収納

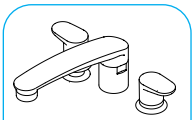

平付収納

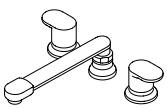
ランドリーパイプ

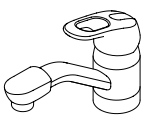


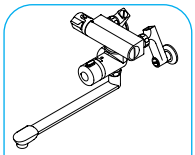
水栓金具の種類

浴槽側水栓

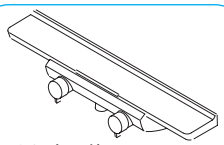

2ハンドルデッキ（エスパーザ）

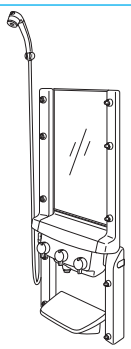

2ハンドルデッキ（アステシア）


シングルデッキ

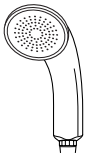

壁付定量止水サーモ

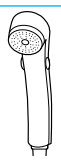
洗い場側水栓


・ルミナスサーモ
・埋込サーモ水栓


シャワー・ド・バス

シャワーヘッド


スプレーシャワー（高級タイプ）


スプレーシャワー
※イラストはスイッチ付です

スイッチ付マッサージシャワー

スイッチ付CC(塩素除去)シャワー

お掃除シャワー

安全上のご注意（必ずお守りください）

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
※水洗金具、換気扇、アクアジェット等は商品に添付されている各取扱説明書および本体表示に従ってください。

表示マークについて

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示マークで区分し、説明しています。

⚠ **警告** ……「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠ **注意** ……「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

絵表示について

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

……「注意しなさい！」（上記の『警告』、『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

……「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

……「分解してはいけません！」

……「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠警告

風呂フタについての警告

風呂フタを設置する場合は、風呂フタの上に体重をかけたり、乗らないでください。

※フタが外れたりして、**ケガやヤケドをする恐れ**があります。

水栓金具や換気扇等の取扱いについての警告

水栓金具や換気扇等の付帯設備は、それぞれの商品に添付されている取扱説明書、および本体の注意表示に従ってお使いください。

※誤った使い方をすると、**思わぬ事故や故障の恐れ**があります。

アクアジェットご使用時の警告

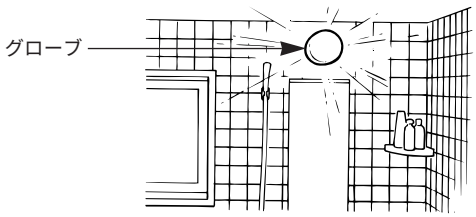
・安全カバーが外れたり破損したままで使用しないでください。
・使用するときは、吸込口や噴射口をふさがないでください。
・浴槽内にもぐらないでください。
・子供だけで、入浴中の場合は運転させないでください。

※髪や身体の一部が吸い込まれて、**おぼれたりケガをする恐れ**があります。

照明や換気扇についての警告

照明器具や換気扇等の電気製品は、グローブやルーバー等のカバーを外して使用したり、直接水をかけないでください。

※**火災や感電・故障したり、電球が割れてケガをする恐れ**があります。



照明器具にタオル等をかけないでください。

※**過熱して火災になる恐れ**があります。

換気扇等のお手入れや、電球を交換する場合は必ず電源（スイッチ）を切ってから行ってください。

※**感電やケガをする恐れ**があります。

排水栓についての警告

浴槽排水栓は、きちんと閉まっていることを確認してください。
お手入れ等で排水栓を取外した時はカチンと音がするまではめ込んでください。
（P.48参照）

※追いだき機器をご使用の場合、漏水により空だきとなり、**火災の恐れ**があります。

⚠注意

ケガに注意!!

換気扇や暖房機運転中はルーバーを外してファンやヒーターに触れたり、指や棒を入れないでください。
※**感電やケガ・故障の恐れ**があります。

浴槽に飛び降りたりして、無理な力をくわえないでください。
※浴槽が破損して**ケガをしたり、漏水する恐れ**があります。

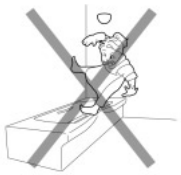
浴室内は石けん液等ですべりやすくなっています。ゆっくりとした動作を心がけてください。
※転んで**ケガをする恐れ**があります。

鏡に熱湯や冷水をかけないでください。
※急激な温度変化は鏡破損の原因となり、**ケガをする恐れ**があります。

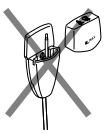
点検口は設備点検時以外は開けたり、中に物等を置かないでください。
※**火災・感電や漏水**、またフタが外れ、落下して**ケガをする恐れ**があります。

ものをぶつける等、鏡や壁・照明カバーへの衝撃はお避けください。
※表面が傷ついたり、割れて**ケガをする恐れ**があります。

浴槽やカウンター、洗面器台の上に乗って、掃除や電球交換をしないでください。
※不安定な作業になりますので、転倒して**ケガをする恐れ**があります。

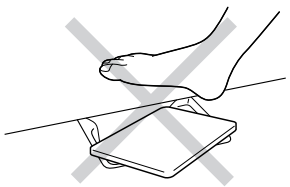


外付型プッシュワンウェイ排水栓のボタン部を分解したまま使用しないでください。
※突起部分で**ケガをする恐れ**があります。



カウンターの内部には手を入れないでください。
※カウンター裏のお手入れをするときには、必ずビニール手袋等で手を保護して行ってください。突起部分やすき間等で**ケガをする恐れ**があります。

目皿を外したまま、使用しないでください。
目皿はきちんとはめて使用してください。
※脚を踏み外して**ケガをする恐れ**があります。



ベンチ付浴槽をご使用の場合はベンチ部の段差に注意してください。
※転んで**ケガをする恐れ**があります。

循環口に脚をかけないでください。
※循環口が外れ、転んで**ケガをしたり、ヤケドをする恐れ**があります。

エプロンに無理な力や衝撃を加えないでください。
※エプロンが割れたり、脱落して**ケガをする恐れ**があります。

シャワーヘッド・シャワーフックに無理な力を加えないでください。
※破損して**ケガをする恐れ**があります。

⚠注意

自分で取り付けないで!!

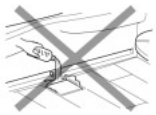
ご自分で壁に穴をあけて､握りバーやタオル掛等を取り付けないでください。
※**タイルや壁材が割れたり、漏水の原因**となります。

ヤケドに注意!!

風呂フタは必ず浴槽に合ったものをお使いください。
※フタが外れて、**ケガやヤケドをする恐れ**があります。

溶剤、薬品に注意

排水口にシンナー等の溶剤や薬品類を流し込まないでください。
※**漏水の原因**となります。

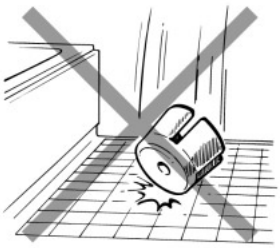


使用時のご注意

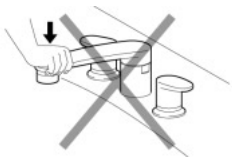
故障をおこさないためにお守りください

無理な力を加えないで!!

重いものや硬いものを落さないでください。
※**キズの原因**となります。



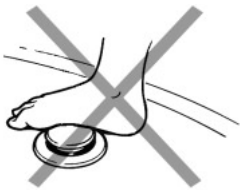
水栓吐水口を上下に動かしたり、無理な力を加えないでください。
※**漏水の原因**となります。



窓枠の上に植木ばち等の重いものを置いたり、窓枠に突っ張りブラインド等で押し広げる力を加えないでください。
※**破損や漏水の原因**となります。

外付型プッシュワンウェイ排水栓のレリースを強い力で引っ張ったり折り曲げたりしないでください。
※**故障する原因**となります。

排水栓が開いた状態で栓の上に乗ったり、栓に荷重がかかった状態で、排水栓開閉ボタンを無理に押さないでください。
※**排水栓が破損し、漏水する原因**となります。



タオル掛やシャワーフック、ランドリーパイプ等に無理な力を加えないでください。
※**破損や漏水の原因**となります。

洗面器台やカウンターに乗ったり、すわったりしないでください。
※**破損や漏水する原因**となります。

おそうじのときは!!

クレンザー・磨き粉・ラッカー・シンナー・アルコールまたは塩酸、アンモニア、苛性ソーダ等の薬品や漂白剤は使用しないでください。
※**キズ、変色等の原因**になります。
また、サンドペーパーやタワシの使用も、光沢を失わせキズをつけるのでおやめください。

ドアは飛散する水を防ぐためのものです。ドアに直接水をかけないでください。
※浴室外に水が漏れ、**家財等をぬらす原因**となります。

お手入れ等で、排水トラップや浴槽排水口のヘアキャッチャーを取り外した後は、きちんとはめ込んでから、使用してください。
※**排水管の詰まりや悪臭の原因**になります。

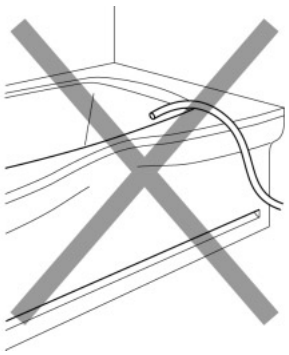
浴槽内の注意!!

アクアジェット付の浴槽では、浴槽内で石けん・ボディシャンプー類を使用しないでください。
※多量の泡が発生するとともに**故障の原因**となります。

硫黄系、アルカリ系の入浴剤や、温泉水、自家製の井戸水を使用しないでください。
※**浴槽表面の変色や漏水の原因**となります。

イデアトーン浴槽は必ず専用の風呂フタを使用してください。
※フタの素材によっては、**浴槽を傷める原因**となります。

イデアトーン浴槽の上にビニールホース等樹脂製品を長時間置かないでください。
※塩ビ、ゴム等、材質によっては**浴槽を傷める原因**となります。



イデアトーン浴槽の場合は、入浴中以外はシャワーホースを上方のシャワーフックにかけてください。
※ホースが長時間浴槽に触れていると、**浴槽表面を傷める原因**となります。

金属類を放置しないで!!

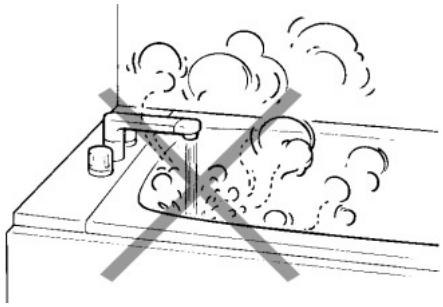
ヘアピン・カミソリの刃等をカウンターに放置しないでください。
※**サビが付着して取れなくなる場合**があります。

火を近づけないで!!

タバコ等の火気を近づけないでください。
※**キズ・ヒビ割れの原因**となります。

熱湯に気をつけて!!

お湯は温度を調節して給湯してください。
※直接熱湯（80℃以上）を入れたり、お湯を沸かしすぎますと**浴槽や排水金具を傷めたり、寿命を短くする原因**となります。



浴槽浄化保温機について

イデアトーン・エセンヌ以外の浴槽では浴槽浄化保温機（24時間バス）に該当する機器は使用しないでください。
※継続して使用すると**浴槽表面の荒れ・退色等を著しく促進する場合**があります。

化粧品の使用について

浴室内で毛染め剤やマニキュア除光液をご使用される時は、必ずシート等で床を保護してください。
※床に付着すると**シミになる場合**があります。

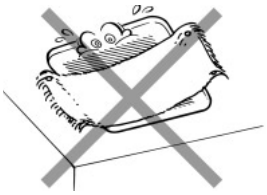
目地のキズに気をつけて!!

床・壁・天井・窓枠等の継目部分には、漏水を防ぐため目地材（または、コーキング材）がうたれています。はぎ取ったり、キズつけないでください。
※**漏水の原因**となります。

注1）イデアトーン浴槽とは表面に深い透明の層をもった浴槽です。
注2）エセンヌ浴槽とは深い透明感のある質感の高い浴槽です。

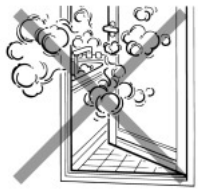
換気等に注意!!

暖房機や換気扇の吸込口をタオル等でフタをしないでください。
※**故障の原因**となります。



入浴後は窓を開けたり、換気扇を使用する等、浴室にこもった湿気を屋外へ排出してください。
ただし、常時（24時間）換気機能付の場合は入浴後「強」運転を行い、浴室の湿気を排出してから「弱」運転にて常時換気を行ってください。
※浴室にこもった蒸気は、**悪臭やカビの発生原因**となります。
※換気扇を使用する時は、窓やドアを開けないでください。十分な換気ができません。

入浴中や貯湯、入浴直後は浴室のドアを必ず閉めてください。
※浴室外に蒸気や水が漏れ、**家財等をぬらす原因**となります。
※ドアがきちんと閉まった状態でも、シャワー等で勢いよくドアのすき間に散水すると外へ漏れることがあります。また蒸気や光につきましても完全に遮へいする構造ではありません。



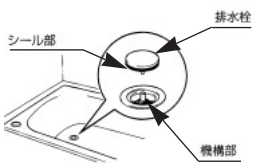
洗い場の床について

床が汚れていることがありますので、はじめてご使用になる場合は、浴室用合成洗剤でお掃除することをお勧めします。
床表面は水はけの良いモザイクパターンになっていますが一部に水滴が残り、乾燥に時間がかかることがあります。
※床に残った大きな水滴は、入浴後使い終わったタオル等でふいておくと乾燥に時間がかかりません。

凍結に注意

凍結の恐れがある場合は、水栓、アクアジェットおよびあわリズム、即湯システムの取扱説明書に従って必ず水抜きをしてください。また、温水式換気乾燥暖房機、熱源機ともに電源を切らないでください。（詳しくは熱源機の取扱説明書をご覧ください。）
※冬期凍結の恐れがある場合は、浴槽内の湯は排水してください。
追いだき付給湯機を使用の場合は、給湯機の取扱説明書に記載の凍結防止方法を参考にしてください。アクアジェットをご使用の場合は、給湯機等に関係なく浴槽内の湯は必ず排水してください。
※**破損や故障の原因**となります。

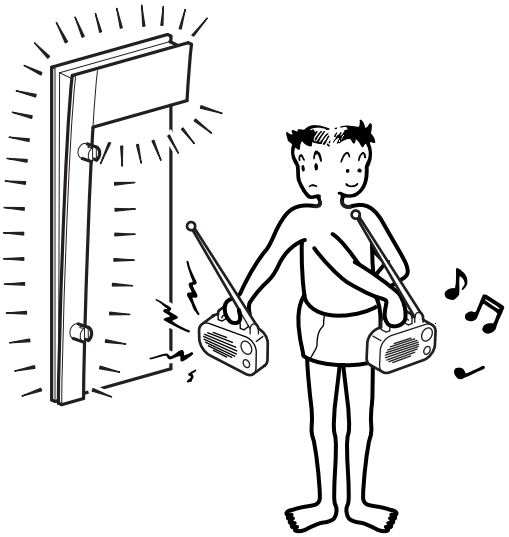
冬期に排水栓のシール部や機構部の水が凍結した状態で排水栓開閉ボタンを無理に押さないでください
※**破損の原因**となります。



凍結のためにボタンを押しても排水栓が開閉しない場合は、排水栓に40℃以下の温水をかけ、解凍した上でご使用ください。

※冬期凍結の恐れがある時期に、長期間使用しない（浴室内温度が零度以下へ低下）場合は、床排水トラップ内の水が凍結しないように、トラップ内の水を吸い出して不凍液と入れ替えてください。不凍液が入手できない場合は、ヘアキャッチャーや防臭パイプを外してから不凍液の替わりにぼろ布をトラップ内に押し込んで、排水からの臭気が入らないようにしてください。

ラジオに雑音が入ったら



照明器具にラジオを近づけると、雑音が入ることがあります。
このような場合は、雑音が入らない位置まで、ラジオを離して使用してください。

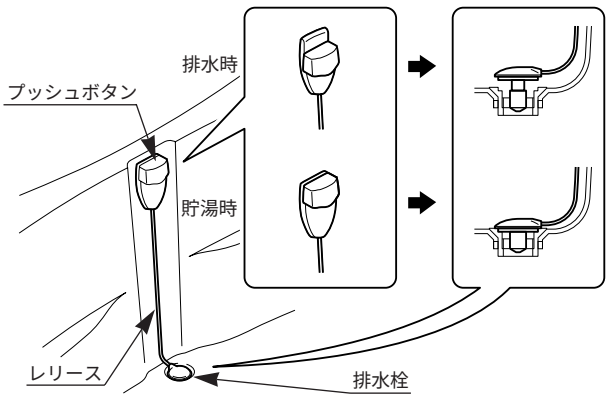
ご使用方法

排水栓について

ワンポイント 洗い場では、高さ30cm程度の風呂イスをご使用することをお勧めします。

外付型プッシュワンウェイ排水栓の場合

プッシュボタンを押して、排水栓の開閉を行います。



1 浴槽へお湯をためる時

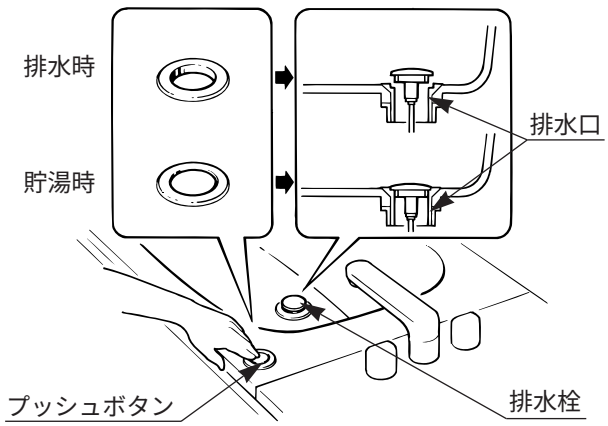
プッシュボタンが上がった状態にします。
プッシュボタンが下がっている場合は、
プッシュボタンを押すと、上がった状態に
なります。

2 排水する時

プッシュボタンが下がった状態にします。プッシュボタンが上がっている場合は、
プッシュボタンを押すと、下がった状態になります。

内蔵型プッシュワンウェイ排水栓の場合

プッシュボタンを押して、排水栓の開閉を行います。



1 浴槽へお湯をためる時

プッシュボタンが上がった状態にします。
プッシュボタンが下がっている場合は、
プッシュボタンを押すと、上がった状態に
なります。

2 排水する時

プッシュボタンが下がった状態にします。プッシュボタンが上がっている場合は、
プッシュボタンを押すと、下がった状態になります。

オート排水栓の場合

詳しくはオート排水栓の取扱説明書をご覧ください。

オート排水栓とは

専用の給湯器のリモコン操作で、排水栓を自動的に閉めたり、開けたりできます。

●リモコンのスイッチONで排水栓を閉め、湯張りを行います。
●台所用リモコンからスイッチONでお風呂の排水ができます。
●お風呂の手動ボタンでも排水栓の開閉ができます。
※別途INAXのシンクロオート対応給湯器やリモコンが必要です。

水栓について

詳しくは各水栓金具の取扱説明書をご覧ください。

⚠注意

●水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。
※高温の湯が出て**ヤケドをする恐れ**があります。

●高温の湯をお使いの時には、吐水口やシャワーホースは高温になっています。金具の表面に直接、肌を触れないようにしてください。
※**ヤケドをする恐れ**があります。

●ハンドル操作の急閉止はおやめください。
※**ウォーターハンマー（衝撃音）が発生**することがあります。
※配管から漏水をおこし、**家財等をぬらす原因**となります。

？もしもこんなとき

電気温水器および貯湯式の給湯器を使用する場合は、**給湯器の設定温度を50℃以上**にするか、水栓付属の取扱説明書をご覧の上、水栓の温度調節を行ってください。

洗い場でお湯を使う

ワンポイント

洗い場では、高さ30cm程度の風呂イスをご使用することをお勧めします。また、ゴム脚付の風呂イスをご使用いただきますと、床表面のキズ防止にもなります。

ワンポイント

使用する洗面器や洗面器台に置く位置によっては、洗面器が洗面器台から落ちることがあります。洗面器は直径27cm以下、底裏面にゴムが取り付けてあるものをご使用いただきますと、移動防止と洗面器台表面のキズ防止にもなります。

洗い場側水栓（埋込式サーモスタット付水栓）

詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

① 温度の調節

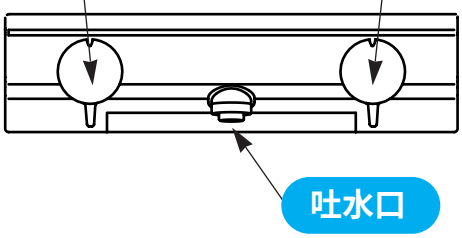
温度調節ハンドルの温度表示の数字（温度目盛）は、吐水温度を示しています。これを目安として、温度表示ボタンを温度目盛に合わせてください。

ワンポイント

温度目盛の上限は「45」で、約45℃以上のお湯はできません。
高温側に回すと安全ボタンの働きで一度温度調節ボタンが止まります。40℃以上の吐水温度が必要なときは、表示ボタン（安全ボタン）を押しながら回してください。

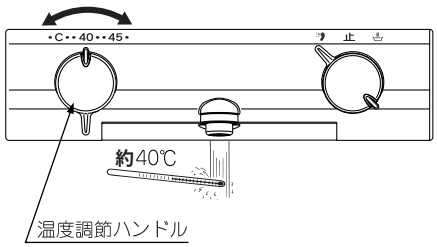
温度調節ハンドル
お湯の温度を調節します。

シャワー・バス切替ハンドル
シャワーと吐水口の切替えとお湯を止めます。

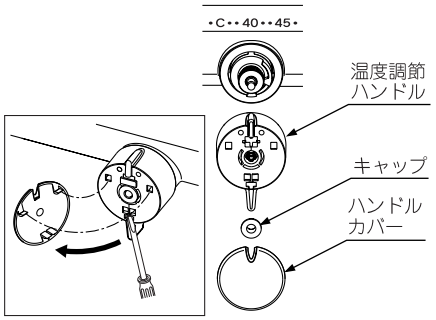


希望の温度が得られないときは、以下の手順で温度調節を行ってください。

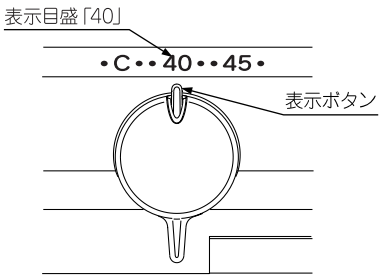
（1）全開吐出し吐水口から出る湯の温度が、温度目盛に関係なく約40℃になるように温度調節ハンドルを回します。



（2）吐出温度が約40℃になったところで止水し、温度調節ハンドルが回転しないように注意して、ハンドルカバー、キャップを外し、温度調節ハンドルを抜き取ります。



（3）抜き取った温度調節ハンドルの表示ボタンが温度表示の「40」に合うように温度調節ハンドルをはめてキャップを挿入し、ハンドルカバーをはめ込みます。



② 吐水口、シャワーの切替え

シャワー・バス切替ハンドルの凸部と切替表示の「止」マークが合っているときが止水位置です。シャワー使用のときは、シャワー・バス切替ハンドルを左に回してください。吐水口使用のときはシャワー・バス切替ハンドルを右に回してください。

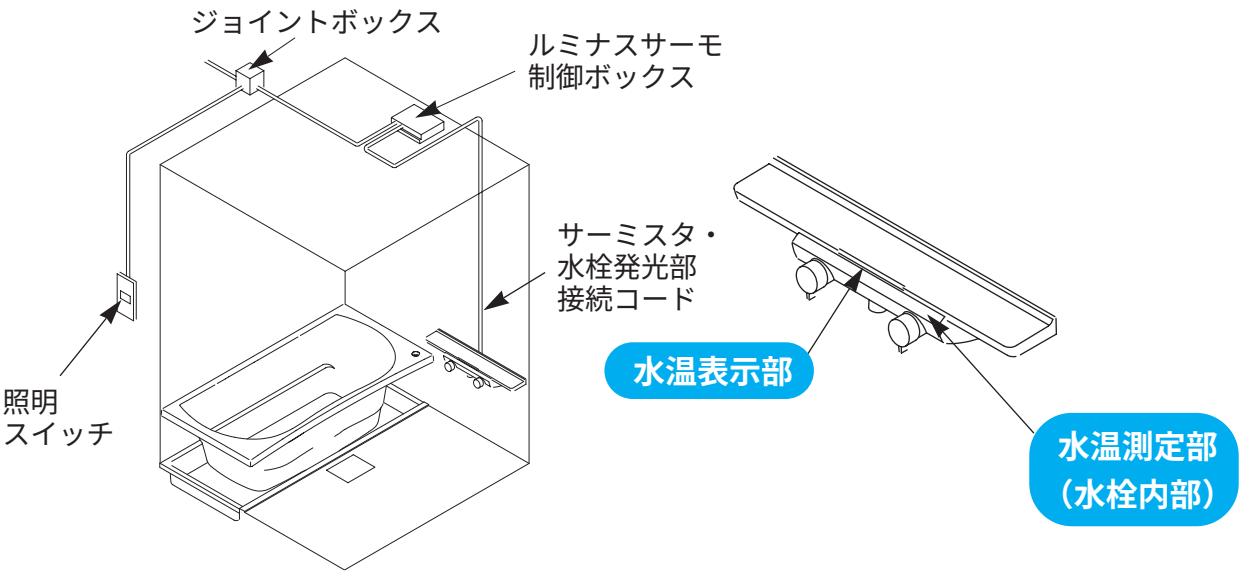
ルミナスサーモ水栓について

温度の調節および吐水口、シャワーの切替えはP.14の埋込式サーモスタット付水栓をご覧ください。

⚠注意

●表示の色は水温の目安です。水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。
※高温の湯が出て**ヤケドをする恐れ**があります。

各部の名称とはたらき



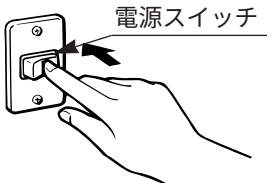
水温表示部：水温測定部で測定した水温を一般的な光の色で表示します。
主な光の色と水温について
水色：約30℃以下の一般的に「冷たい」と感じる水温です。
橙色：約38～42℃前後のシャワーなどに適した水温です。
赤色：約45℃以上の一般的に「熱い」と感じる水温です。

水温測定部：埋込式サーモ水栓内部の吐水前の水温を測定します。

水栓の使い方

① 照明スイッチとの連動

照明と連動してルミナスサーモが作動します。
浴室外にある電源スイッチ（照明スイッチ）を押して操作します。
※電源スイッチ（照明スイッチ）を入れないと水温表示部は光りません。
※消忘れに注意してください。

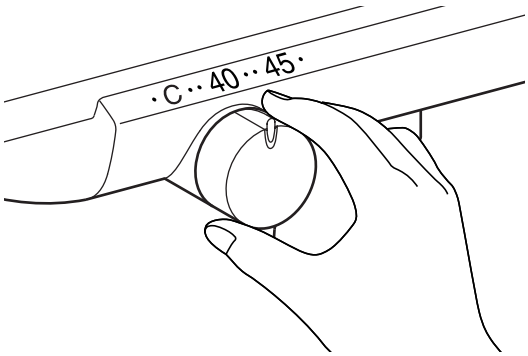


ワンポイント

電源投入直後は水栓内部にたまっている水温を色で表示します。吐水操作直後に流れ出る水温の目安としてお使いください。

② 温度の調節

温度調節ハンドルを回します。
温度調節ハンドルの温度表示の数字（温度目盛）を、目安として、温度表示ボタンを温度目盛に合わせます。

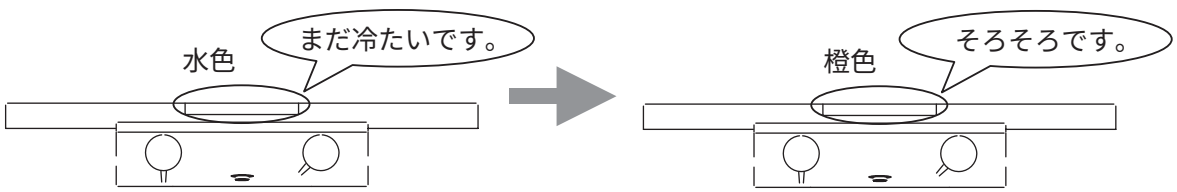


ワンポイント

止水中は水栓内部にたまっている水温を色で表示します。吐水操作直後に流れ出る水温の目安としてお使いください。

③ 吐水口、シャワーの切替え

シャワー・吐水切替ハンドルを回します。
水温表示部の光の色が水温に応じて変化します。光の色が希望する水温の色となりましたらご使用ください。



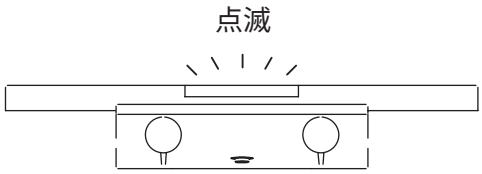
ワンポイント

シャワーでご使用の場合は、吐水口でご使用時の水温変化と比べて、ホースの長さの分だけ光の色変化と、実際の水温に若干の時間差が発生しますので配慮してご使用ください。

使用水温表示以外の光の色について

ルミナスサーモは使用温度範囲での水温表示の他に下記の表示機能があります。状況に応じて水温の目安としてください。

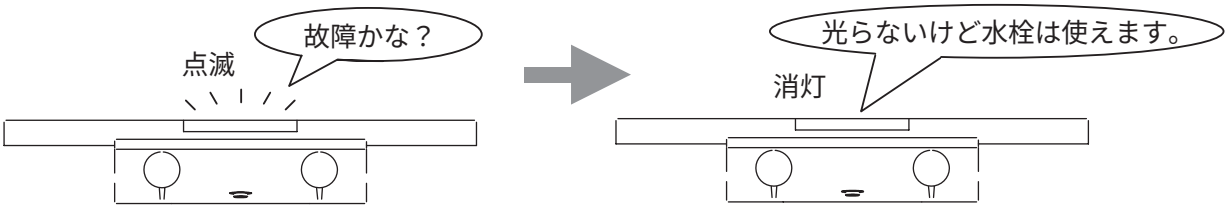
水色の点滅（1秒間隔）表示・・・水温が極端に低い（約2.5℃以下）場合
赤色の点滅（1秒間隔）表示・・・水温が設定最高温度（約45℃）より高い場合
※赤色の点滅となる場合はP.14の水栓ハンドルの調節を行ってください。



故障表示機能について

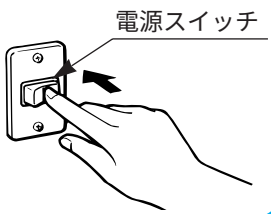
ルミナスサーモは万が一水温測定部や、水温表示部が故障した場合、下記のような表示となります。

10秒間のはやい点滅（0.5秒間隔）後、表示が消灯・・・水温測定部または水温表示部の故障の可能性がある場合。



表示が消灯中は安全に機能が停止した状態ですので、水温表示は出ませんが、そのまま水栓をご使用いただいてもかまいません。

※浴室外にある電源スイッチ（照明スイッチ）をいったん切って、再度電源を入れると表示はリセットされます。
リセット後も、同様の故障表示をする場合は修理を依頼してください。



もしもこんなとき

電気温水器および貯湯式の給湯器を使用する場合は、**給湯器の設定温度を50℃以上**にするか、水栓付属の取扱説明書をご覧の上、水栓の温度調節を行ってください。

浴槽にお湯をためる

ツーハンドル水栓

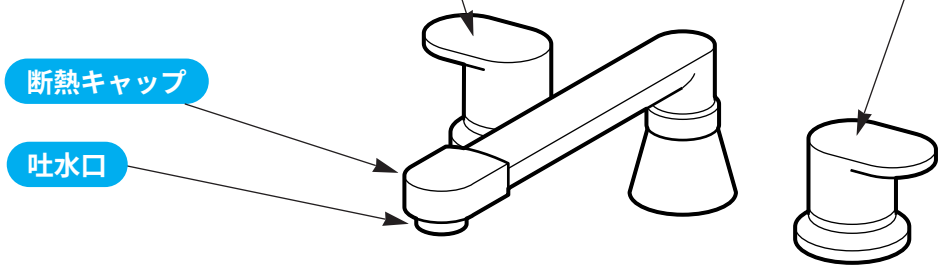
詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。また、自動湯張りの給湯器がついている場合は、給湯器の取扱説明書をご覧ください。

① 水側ハンドルを回します。

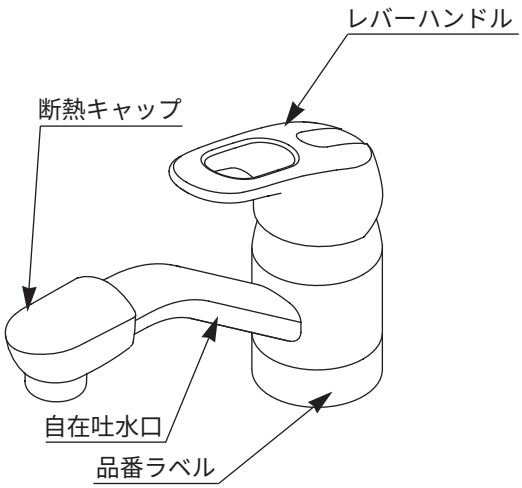
② 湯側ハンドルを回し、適温にします。

湯側ハンドル
お湯を出したり、止めたりします。
ハンドルのマークは赤色です。

水側ハンドル
水を出したり、止めたりします。
ハンドルのマークは青色です。

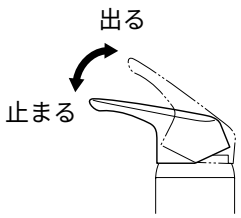


シングルデッキ水栓



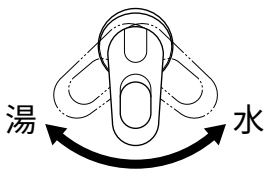
1 吐出量の調節

レバーハンドルを上げると吐出し、上げ具合で吐出量を調節できます。
レバーハンドルは左右どの位置でも下げると止水します。

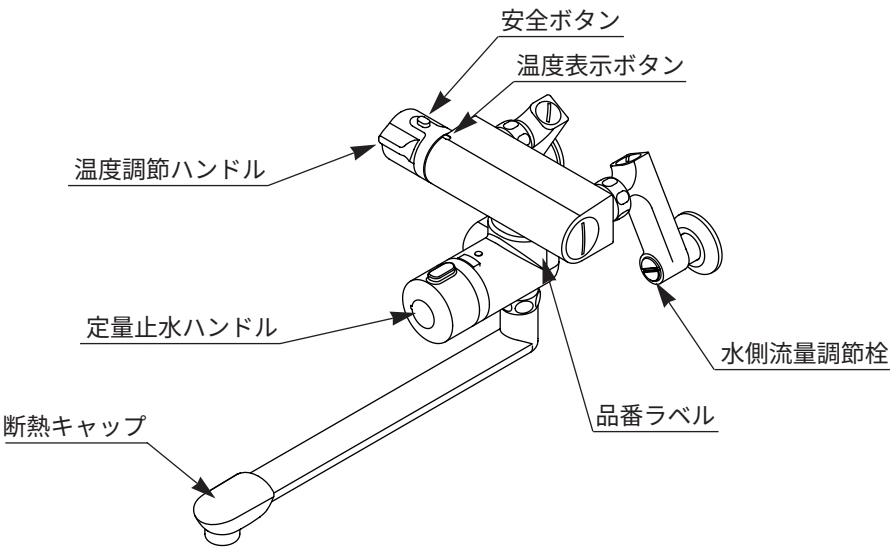


2 温度の調節

レバーハンドルを左方向に回すと吐出温度が上がり、右方向に回すと下がります。



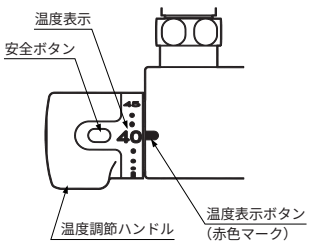
壁付定量止水サーモ水栓



① 温度の調節

温度調節ハンドルの温度表示（温度目盛）は吐出温度を示しています。これを目安として、温度表示を温度表示ボタン（赤色マーク）に合わせてください。

※安全ボタンの働きで高温側に回すと「40」の表示のところで一度温度調節ハンドルが止まります。
40℃以上の吐出温度が必要な場合は、安全ボタンを押しながら回します。



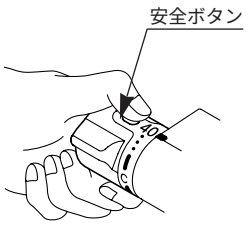
ワンポイント

●より快適にご使用していただくために

季節によって、給水温度は夏は温かく、冬は冷たくというように一定ではありません。このため、給水温度の変化につれて、吐出温度も表示温度からズレることがあります。
この場合、給湯器の設定温度を

夏は低く、冬は高く

調節していただくことで吐出温度と表示温度のズレが少なくなり、いつも快適にご使用になれます。

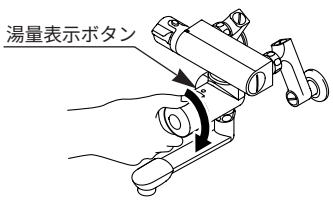


② 吐出量の調節

●定量止水（自動止水）の場合

定量止水ハンドルの数字（湯量目盛）は、自動的に止まる湯量（単位：L）を示しています。定量止水ハンドルを右（時計回り）に回して、湯量目盛を本体の湯量表示ボタン（赤色マーク）にセットしてください。

※「100」以下の目盛にセットする時は、一度「100」以上の目盛に回してから戻してセットしてください。



[簡単にお使いいただくために]

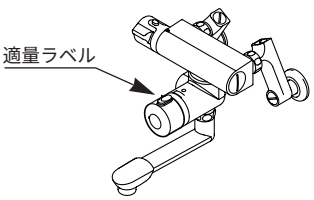
同梱の適量ラベルを張ってください。ご使用の際、適量ラベルの位置にセットするだけで簡単に湯量目盛を設定できます。

※浴槽に適した湯量目盛を右表を参考にして決めてください。

※適量ラベルは、ヨゴレや水分をよくふいてから張ってください。

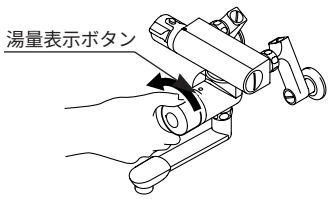
セットの目安

浴槽の大きさ	セットの目盛
1150浴槽	200
1600ベンチ付浴槽	250
1600標準浴槽	250
1600ワイド浴槽	300



●連続して吐出する場合

定量止水ハンドルを左（反時計回り）に回して、「ON」のマークを湯量表示ボタンに合わせてください。定量止水ハンドルを「OFF」に戻さない限り連続して吐出されます。



⚠ 注意

●水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。
※高温の湯が出て**ヤケドをする恐れ**があります。

ドアの施錠・解錠と取外方

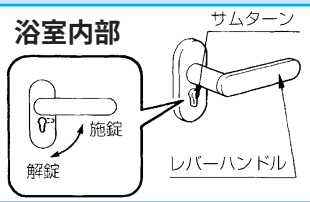
開き戸、折り戸、親子戸でご使用方法が異なります。以下の説明をよくお読みいただき、該当する方法で正しくご使用ください。
浴室ユニットをご使用の前に、ドアを開けたままで解錠が可能か確認してください。万一、解錠ができない場合は、購入先へ連絡してください。

ワンポイント 小さなお子さまが浴室内に一人で入らないように、入浴時以外は浴室外側からの施錠をおすすめします。

開き戸の施錠・解錠（親子開き戸共通）

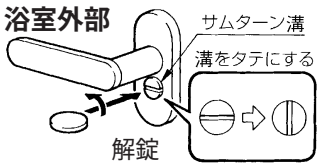
浴室内側からの施錠・解錠

施錠はサムターンを右側横向きにし、解錠は下向きにします。
※浴室から出る際にドアを閉めるときは、サムターンを解錠状態にしてください。
施錠の状態にしたままドアを閉めますと、入室できなくなります。
その場合は、下の「浴室外側からの解錠（非常時）」をご覧ください。



浴室外側からの施錠・解錠（非常時）

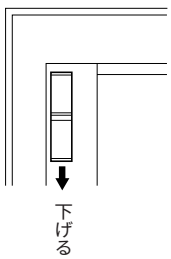
施錠はサムターン溝にコイン等を差し込んで右側へ回し横向きにします。
非常時に浴室外から解錠するときは、サムターン溝にコイン等を差し込んでサムターン溝をタテ方向に回してください。
サムターンが解錠となり、ドアを開けることができます。



開き戸の取外方（親子開き戸共通）

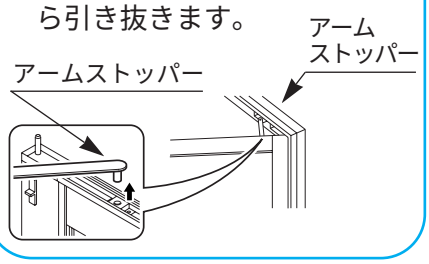
浴室内で人が倒れる等によりドアが開かなくなった場合には、以下の要領で救助作業を行ってください。

1 扉上部のツマミを下げます。

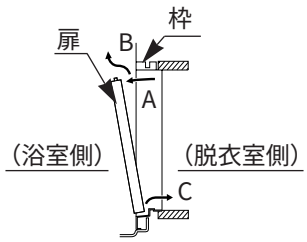


2 レバーハンドルを操作し、ドアを浴室側に開きます。

3 扉上部のアームストッパーを上へ押し、扉本体から引き抜きます。



4 扉上部を浴室側へ倒しながら（図中A）上方へ持ち上げます。（図中B）



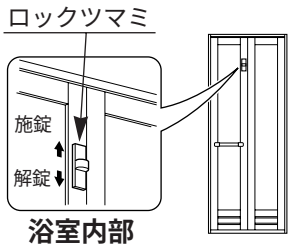
扉を少し斜めにしながら、扉下部から脱衣室側へ扉を取り外します。（図中C）

※取付けは「取外方」と逆の手順で行います。
※取付後は、ツマミの溝がたてになっていることを確認してください。

折り戸の施錠・解錠（親子折り戸共通）

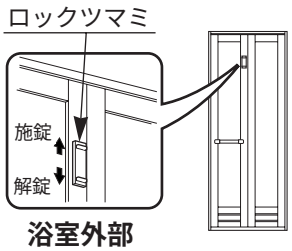
浴室内側からの施錠・解錠

施錠はドア上側にあるロックツマミを上げます。
解錠はロックツマミを降ろします。



浴室外側からの施錠・解錠（非常時）

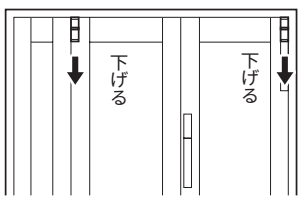
施錠はドア上側にあるロックツマミを上げます。
非常時に浴室外から解錠するときは、
ロックツマミを降ろします。
施錠スイッチが解錠となり、ドアを開けることができます。



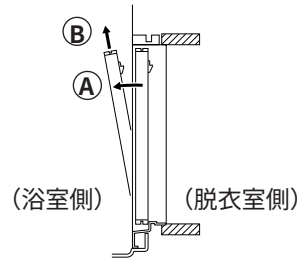
折り戸の取外方（親子折り戸共通）

浴室内で人が倒れる等によりドアが開かなくなった場合には、以下の要領で救助作業を行ってください。

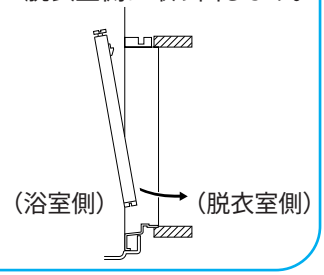
1 扉の左右上部の2か所のロックツマミを下げます。



2 扉上部を浴室側に傾けます。Ⓐ
扉を上方へ持ち上げます。Ⓑ

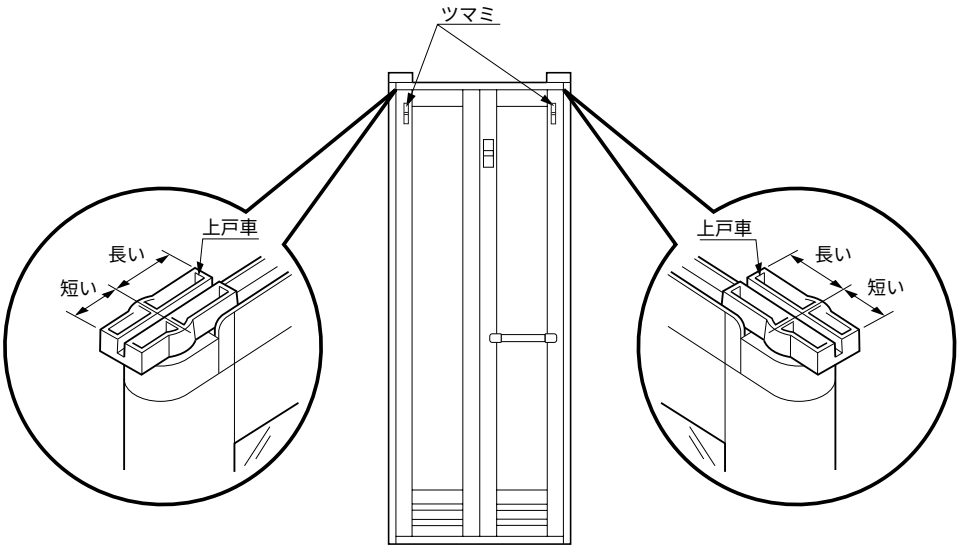


3 扉を折り曲げながら、脱衣室側に取り出します。



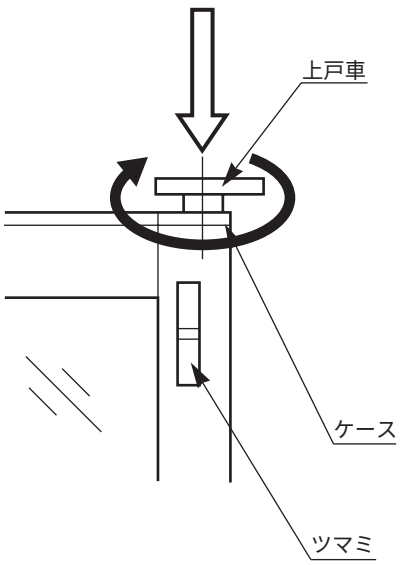
※取付けは「取外方」と逆の手順で行います。取付けの際は、戸車の向きに注意してください。向きを間違えると開閉時、枠から障子が外れます。

取付けの際は、必ず上戸車の向きを確認してください。
左右の上戸車の長い方どうしが内側を向くようにして、扉左右の上部のツマミを下げて取り付けてください。



※正しく取り付けられていない場合、**扉が外せなくなったり、漏水の原因**となります。

上戸車がツマミで上下できない場合は上戸車の向きを短い方が内側を向く状態にし、ケースに当たるまで押し込みます。押し込んだ状態で上戸車を１８０度回転させ、長い方が内側に向いた状態で手を戸車からはなしてください。上戸車がツマミで上下できれば対処完了です。
※上戸車がツマミで上下できない場合、上戸車とツマミを扉から取り外さないでください。元に戻せなくなります。



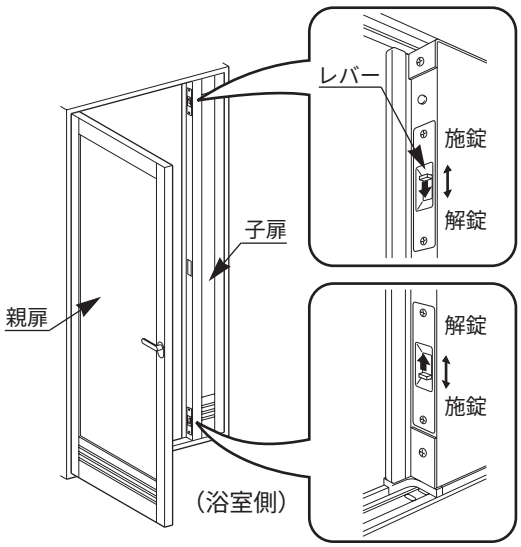
親子開き戸、折り戸（子扉）の施錠・解錠

⚠注意

入浴中は子扉のロックをかけた状態で使用してください。

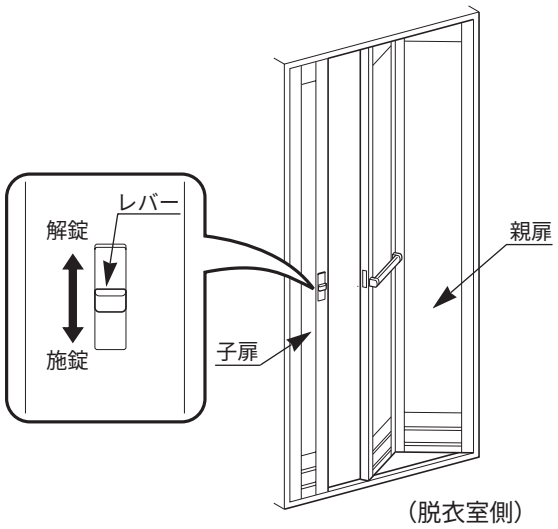
親子開き戸の子扉の施錠・解錠

親扉を開いた状態で、子扉側面にあるレバーをスライドさせます。



親子折り戸の子扉の施錠・解錠

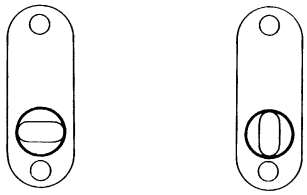
親扉を開いた状態で、子扉の脱衣室側中央部にあるレバーをスライドさせます。

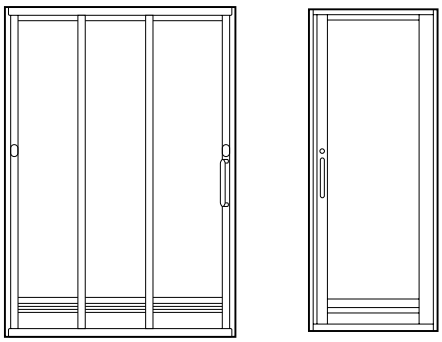


3枚引き戸・片引き戸の施錠・解錠

浴室内側からの施錠・解錠

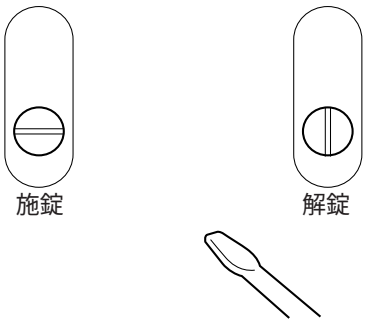
浴室内部





浴室外側からの施錠・解錠

浴室外部



⚠注意

開閉の際には､戸のすき間に指や手をはさまないよう、注意してください。
※**ケガをする恐れ**があります。

※扉の取外方についてはP.52の「下カバーの外し方」をお読みください。

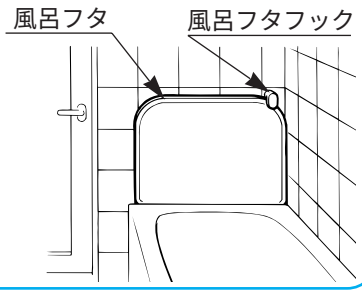
オプション機能

風呂フタの使い方

ワンポイント
風呂フタはカビが発生しやすいか所です。ときどき、うすめた浴室用合成洗剤をスポンジ等につけて洗い、その後水で流して陰干し等でよく乾燥させると、カビが発生しにくくなります。

組みフタの場合

組みフタの場合、浴槽背もたれ側の壁に風呂フタフックが付いています。
入浴するときは風呂フタをフックにかけてください。

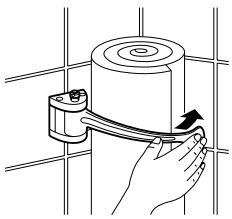


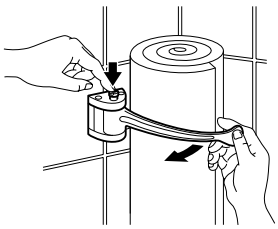
⚠ 注意
風呂フタフックにもたれたり、無理な力をかけないでください。
※**破損の原因**となります。

巻きフタの場合

オプションで巻きフタフックの設定があります。入浴の時は巻きフタをフックで押さえてください。
※事故防止のためフックを使用しない時は壁に
寄せてください。

⚠ 注意
風呂フタフックにもたれたり、無理な力をかけないでください。
※**破損の原因**となります。

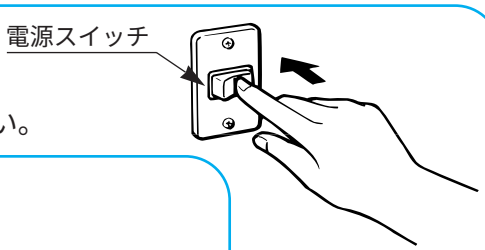

押さえるとき


外すとき

換気扇の使い方

詳しくは換気扇の取扱説明書をご覧ください。

浴室外にある電源スイッチを押して換気扇を操作します。
※換気扇を運転する場合は窓やドアを閉めてください。
P.10の「換気等に注意！！」を参照して、ご使用ください。

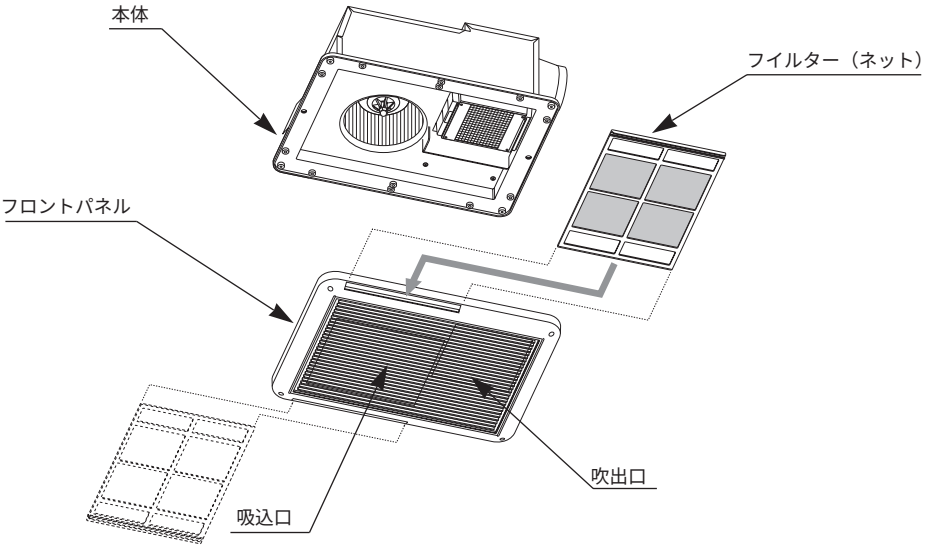


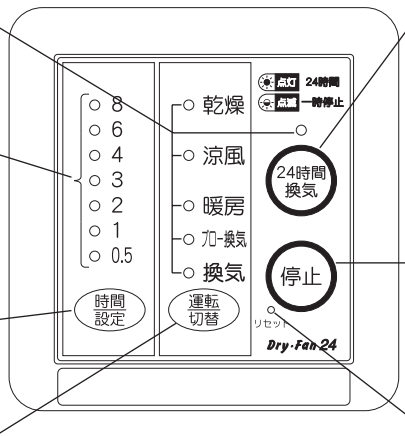
ワンポイント
●常時（24時間）換気機能付の場合
常時換気は住宅全体の換気のために必要です。できるだけ停止させないでください。
●浴室の耐久性を増し、換気扇を長くご使用いただくために、入浴後換気扇を運転したり、窓を開ける等して湿気を十分換気することをお勧めします。
ただし、常時（24時間）換気機能付の場合は入浴後「強」運転を行い、浴室の湿気を排出してから「弱」運転にて常時換気を行ってください。

換気乾燥暖房機の使い方

浴室を換気する以外に、浴室で洗濯物を乾燥させたり、暖房を行うことができます。
詳しくは換気乾燥暖房機の取扱説明書をご覧ください。
※入浴前30分から60分程度暖房運転しておくと浴室全体が暖かくなります。
※乾燥時間は、季節、室温、洗濯物の種類、脱水状態、洗濯物を吊るす位置等使用状況により変化し、乾きにくい場合があります。
※当社以外の機器が取り付けられている場合は、その取扱説明書をよくお読みになり、ご使用ください。

各部の名称とはたらき





表示ランプ
各運転モードに応じて点灯します。

時間表示ランプ
設定された時間ランプが点灯し、運転開始とともに残り時間が点灯します。

時間設定ボタン
運転時間を設定するときに使用します。

運転切替ボタン
運転モードを切り替えるときに使用します。

24時間換気ボタン
24時間換気運転をするとき、24時間換気運転を一時停止するときに使用します。

停止ボタン
乾燥、涼風、暖房、ブロー換気、換気の運転を停止させるときに使用します。

リセットボタン
異常時や設定をリセットするときに使用します。

ワンポイント 常時換気は住宅全体の換気のために必要です。できるだけ停止させないでください。

除菌イオン換気乾燥暖房機の使い方

浴室を換気する以外に、浴室で洗濯物を乾燥させたり、暖房を行うことができます。また、クリーン換気運転等では、除菌イオンの放出により、浴室内のカビの増殖を抑えることができます。

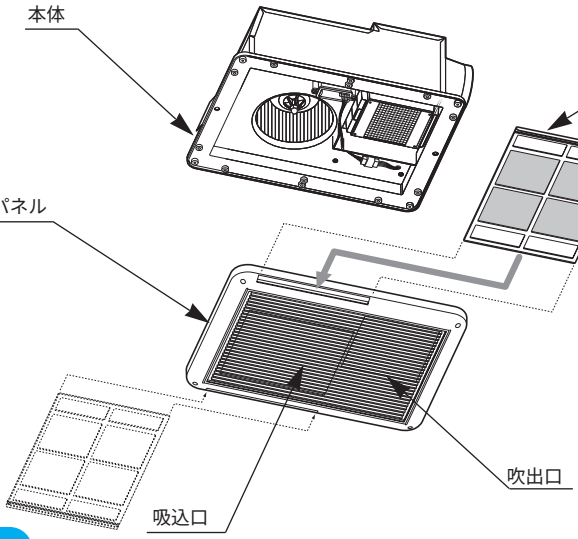
詳しくは除菌イオン換気乾燥暖房機の取扱説明書をご覧ください。

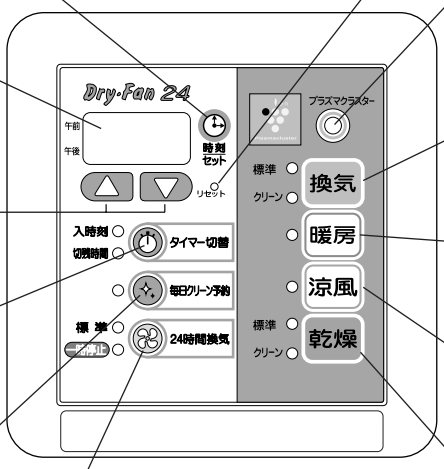
※入浴前30分から60分程度暖房運転しておくと浴室全体が暖かくなります。

※乾燥時間は、季節、室温、洗濯物の種類、脱水状態、洗濯物を吊るす位置等使用状況により変化し、乾きにくい場合があります。

※当社以外の機器が取り付けられている場合は、その取扱説明書をよくお読みになり、ご使用ください。

各部の名称とはたらき





時刻/リセットボタン

現在時刻を表示するとき、設定・修正をするときに使用します。

時刻・タイマー表示窓

現在時刻・入時刻・切残時間を表示します。

時間設定ボタン

現在時刻・入時刻・切残時間を設定するときに使用します。

タイマー切替ボタン

入時刻・切残時間を切り替えるときに使用します。

毎日クリーン予約ボタン

クリーン換気運転を毎日、設定した時刻に自動で運転させるときに使用します。

24時間換気ボタン

24時間連続して換気運転するときに使用します。

リセットボタン

異常時や設定をリセットするときに使用します。

プラズマクラスターランプ

プラズマクラスターイオン発生中（クリーン運転中）に点灯します。

換気ボタン

浴室を換気するときに使用します。

暖房ボタン

入浴前に浴室内を暖めておくときに使用します。

涼風ボタン

扇風機代わりとして使用します。

乾燥ボタン

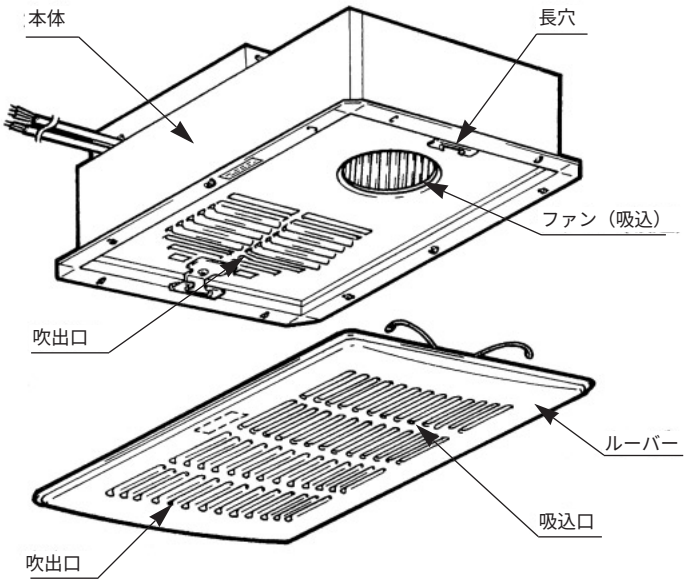
衣類乾燥や浴室乾燥するときに使用します。

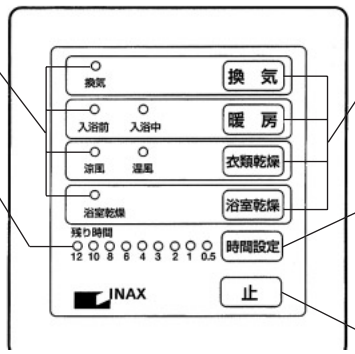
ワンポイント 常時換気は住宅全体の換気のために必要です。できるだけ停止させないでください。

換気乾燥暖房システムの使い方

浴室を換気する以外に、浴室で洗濯物を乾燥させたり、入浴前暖房、入浴中暖房を行うことができます。
詳しくは換気乾燥暖房システムの取扱説明書をご覧ください。
※入浴前30分から60分程度暖房運転しておくと浴室全体が暖かくなります。
※乾燥時間は、季節、室温、洗濯物の種類、脱水状態、洗濯物を吊るす位置等使用状況により変化し、乾きにくい場合があります。
※当社以外の機器が取り付けられている場合は、その取扱説明書をよくお読みになり、ご使用ください。

各部の名称とはたらき





表示ランプ

各運転モードに応じて点灯します。

残り時間ランプ

設定された時間ランプが点灯し、運転開始とともに残り時間が点灯します。

運転ボタン

各運転モードの運転を開始します。

時間設定ボタン

運転時間を設定します。

止ボタン

各運転モードの運転を停止します。

※運転を停止した後、表示ランプが点滅し、ヒーター冷却のための循環ファンが2～3分運転します。
※暖房運転時は、「入浴前」は強風、「入浴中」は弱風となります。

ワンポイント

常時（24時間）換気機能付の場合
常時換気は住宅全体の換気のために必要です。できるだけ停止させないでください。

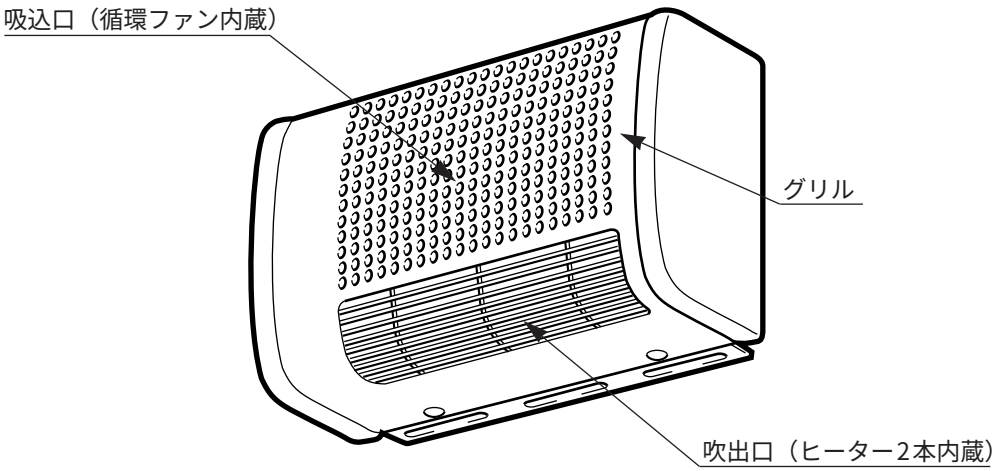
⚠ 注意

表示ランプと残り時間ランプが各1個同時に点滅するとき、または残り時間ランプが2個同時に点滅するときは、ただちに当社指定の取扱店へ修理を依頼してください。
※装置内に異常が起こり、事故防止のため、安全装置が働いて自動停止している状態です。

換気乾燥暖房システム・2室暖房タイプ（洗面室暖房機部分）の使い方

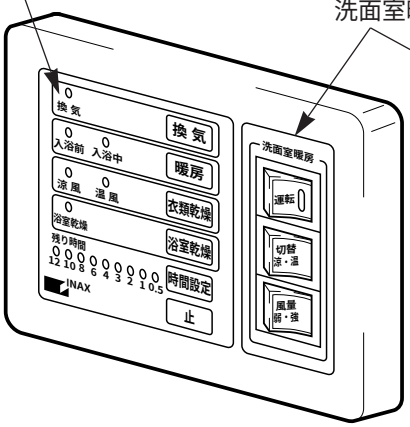
輻射効果により直接身体を暖めたり、洗面室を暖房することができます。
詳しくは洗面室暖房機の取扱説明書をご覧ください。
※洗面室の広さ、断熱状態、窓の有無などの使用条件により、室温が上昇しにくいことがあります。
※入浴前30分から60分程度暖房運転しておくと洗面室が暖かくなります。

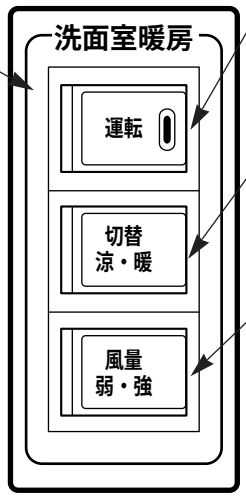
各部の名称とはたらき



換気乾燥暖房システム
リモコンスイッチ

洗面室暖房機スイッチ





運転スイッチ

運転するとき右側を押します。
停止するとき左側を押します。

暖房・涼風切替スイッチ

暖房にするとき右側を押します。
涼風にするとき左側を押します。

風量切替スイッチ

強風にするとき右側を押します。
弱風にするとき左側を押します。

温水式換気乾燥暖房機の使い方

浴室を換気する以外に、浴室で洗濯物を乾燥させたり、暖房を行うことができます。
詳しくは温水式換気乾燥暖房機の取扱説明書をご覧ください。
※入浴前30分から60分程度暖房運転しておくと浴室全体が暖かくなります。
※乾燥時間は、季節、室温、洗濯物の種類、脱水状態、洗濯物を吊るす位置等使用状況により変化し、乾きにくい場合があります。
※当社以外の機器が取り付けられている場合は、その取扱説明書をよくお読みになり、ご使用ください。

各部の名称とはたらき

本体表示部

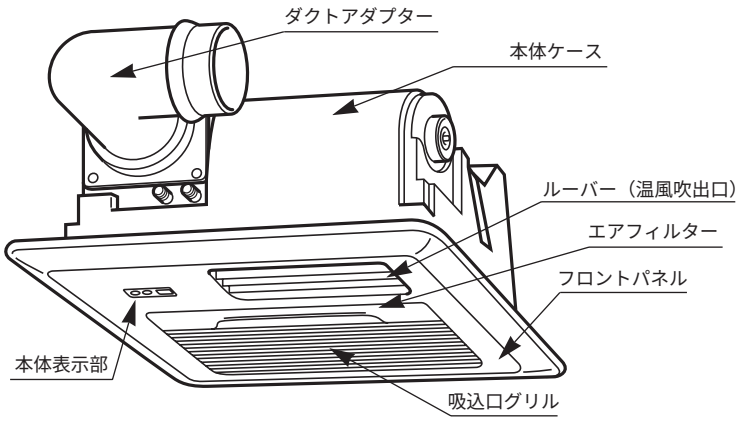
予約ランプ：予約暖房運転の待機中は橙色に点灯します。

リモコン受光部

運転／給水ランプ

運転中は緑色に点灯します。
緑色点滅時：本機の異常です。
赤色点灯時：熱源機の渇水異常です。
赤色点滅時：熱源機の異常です。
（上記の状態になった場合は、温水式換気乾燥暖房機の取扱説明書をご確認ください。）

・熱源機の種類によっては異常をランプで表示しない場合もあります。



ワンポイント　常時換気は住宅全体の換気のために必要です。できるだけ停止させないでください。

運転モード表示部

※右のイラストは説明のためのもので、実際の運転状態を示すものではありません。

予約暖房ボタン

予約暖房時に使用します。

暖房ボタン

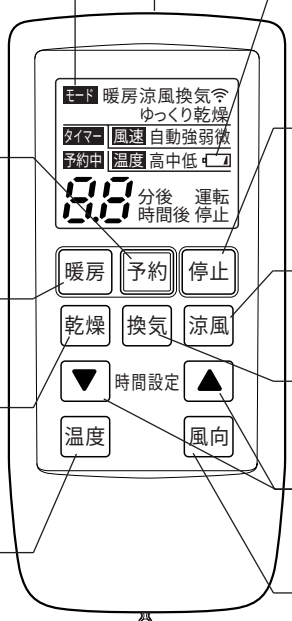
暖房時に使用します。

乾燥ボタン

衣類乾燥・浴室乾燥時に使用します。

温度設定ボタン

暖房運転時に温度設定を変更する時に使用します。



送信部

電池消耗表示

この表示が出たら電池を交換してください。

停止ボタン

各モードの運転停止およびエラー停止の解除に使用します。

涼風ボタン

涼風運転時に使用します。

換気ボタン

換気運転時に使用します。

時間設定ボタン

各モードの時間設定に使用します。

風向切替ボタン

風向（ルーバー角度）を切り替える時に使用します。

リモコンくさり

万一、リモコンを落としてしまった時、破損を防止するためのくさりです。

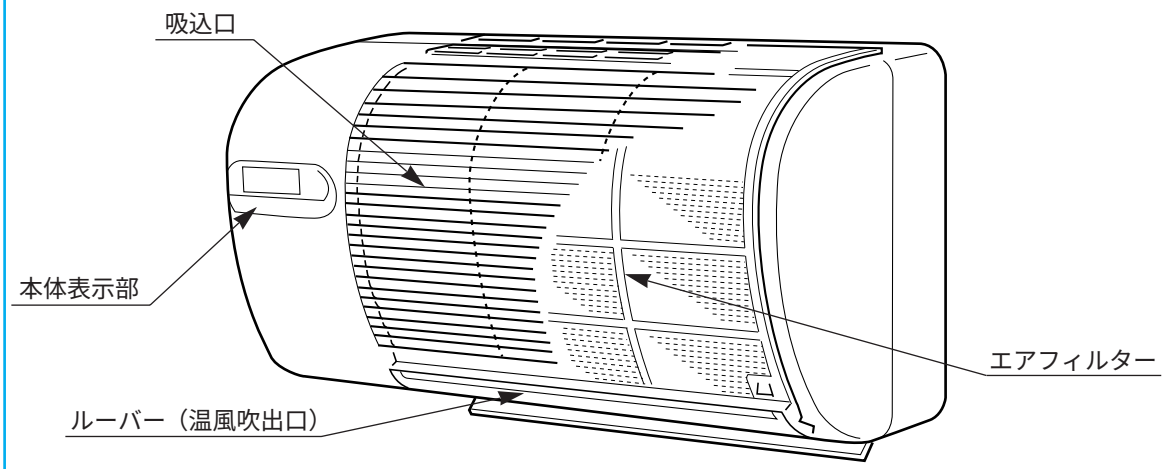
凍結予防運転

●気温が低くなった時の、温水配管の破損を防止するため、本機が停止中でも自動的に熱源機内蔵の温水循環ポンプを運転し、配管内に温水を循環させます。
●冬期には、熱源機、本機とも電源を切らないでください。凍結予防運転ができなくなり機器が破損することがあります。
（詳しくは、熱源機の取扱説明書をご覧ください。）

温水式換気乾燥暖房機・2室暖房タイプ（洗面室暖房機部分）の使い方

洗面室を暖房することができます。また浴室暖房機と連動させ、自動で暖房運転させることができます。
詳しくは洗面室暖房機の取扱説明書をご覧ください。
※洗面室の広さ、断熱状態、窓の有無等の使用条件により、室温が上昇しにくいことがあります。
※入浴前30分から60分程度暖房運転しておくと洗面室が暖かくなります。

各部の名称とはたらき



運転モード表示部

※イラストは説明のためのもので、実際の運転状態を示すものではありません。

温度設定ボタン

暖房運転時の温度設定に使用します。

予約暖房ボタン

予約暖房時に使用します。

時間設定ボタン

各モードの時間設定に使用します。

リモコンくさり

万一、リモコンを落としてしまった時、破損を防止するためのくさりです。

送信部

電池消耗表示

この表示が出たら電池を交換してください。

連動ボタン

浴室暖房機との暖房連動運転の「入/切」をする時に使用します。

暖房ボタン

暖房運転時に使用します。

涼風ボタン

涼風運転時に使用します。

風向切替ボタン

風向（ルーバー角度）を切り替える時に使用します。

停止ボタン

各モードの運転停止およびエラー停止の解除に使用します。

凍結予防運転

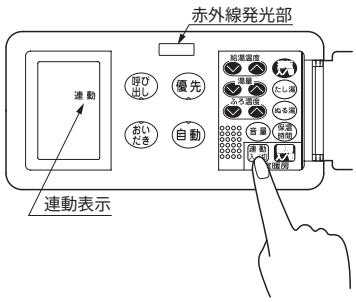
- 気温が低くなった時の、温水配管の破損を防止するため、本機が停止中でも自動的に熱源機内蔵の温水循環ポンプを運転し、配管内に温水を循環させます。
- 冬期には、熱源機、本機とも電源を切らないでください。凍結予防運転ができなくなり機器が破損することがあります。
（詳しくは、熱源機の取扱説明書をご覧ください。）

オート暖房の使い方

給湯器の種類により、リモコンのスイッチ名称や配置は異なります。
詳しくは給湯器、給湯器リモコン、洗面室暖房機の取扱説明書をご覧ください。
給湯器リモコンの湯張り保温スイッチを「入」にした時、自動で浴室暖房機も暖房運転を開始させることができます。
洗面室暖房機も、浴室暖房機に連動して、自動で暖房運転を開始させることができます。

お湯張りと同時に浴室暖房機の暖房運転をしたいとき

※シンクロオート対応の給湯器および給湯器リモコンとセットされた場合のみ使用できる機能です。



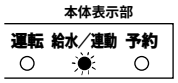
1. 浴室リモコンの連動スイッチを押します。
   ※表示画面に「連動」表示が点灯します。
   ※連動スイッチの設定は、リモコンの運転スイッチの「入」「切」によって変わることはありません。
   ※連動を「切」にしたいときは、もう一度浴室リモコンの連動スイッチを押してください。
2. 湯張り保温スイッチを押します。
   ※湯張り保温スイッチを押すと、湯張りを始めると同時に浴室暖房機も自動で暖房運転を開始します。

ワンポイント

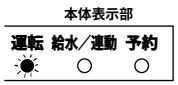
運転状態は毎回、風速「自動」、温度「高」、タイマー「2時間」となります。

洗面室暖房機を浴室暖房機と連動させるとき

1. 洗面室暖房機リモコンを洗面室暖房機本体に向けて連動ボタンを押し、連動を「入」にします。
   ※ブザーがピッピッピッと鳴り、洗面室暖房機の給水／連動ランプが緑色に点灯し、連動運転待機状態になります。



2. 浴室暖房機が暖房運転を開始すると、洗面室暖房機の運転ランプが緑色に点灯し、暖房運転がスタートします。



ワンポイント

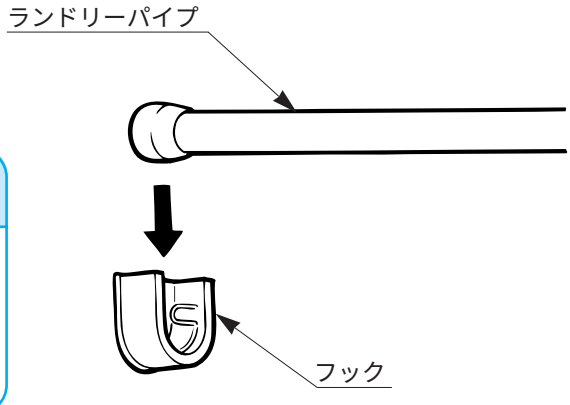
運転状態は毎回、風量「自動」、温度「高」、タイマー「浴室暖房機のタイマー時間」となります。

ワンポイント

給湯器のリモコンで操作した場合、給湯器の浴室リモコンの赤外線発光部から発光した赤外線信号を浴室暖房機受光部で受光することで浴室暖房機が暖房運転を行い、それに連動して洗面室暖房機も暖房運転を行います。浴室リモコンの赤外線発光部や浴室暖房機受光部を、風呂フタや手・タオル・洗濯物等で隠したりしないでください。

ランドリーパイプの取付方

浴室で洗濯物を乾燥させるときに使用します。
浴槽壁の両側にあるフックに確実にはめてご使用ください。



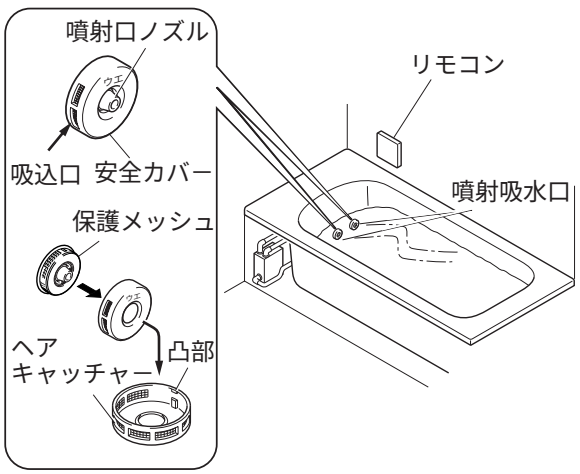
⚠注意

ランドリーパイプにぶら下がったり、強く引っ張らないでください。
※**ケガの恐れ**があります。

アクアジェットの使い方

詳しくはアクアジェットの取扱説明書をご覧ください。

各部の名称とはたらき



リモコン

ジェット の部分を押すことで、運転を開始します。
再度押すと停止します。

つよさ の部分を押すことで噴流強さが切り替わります。

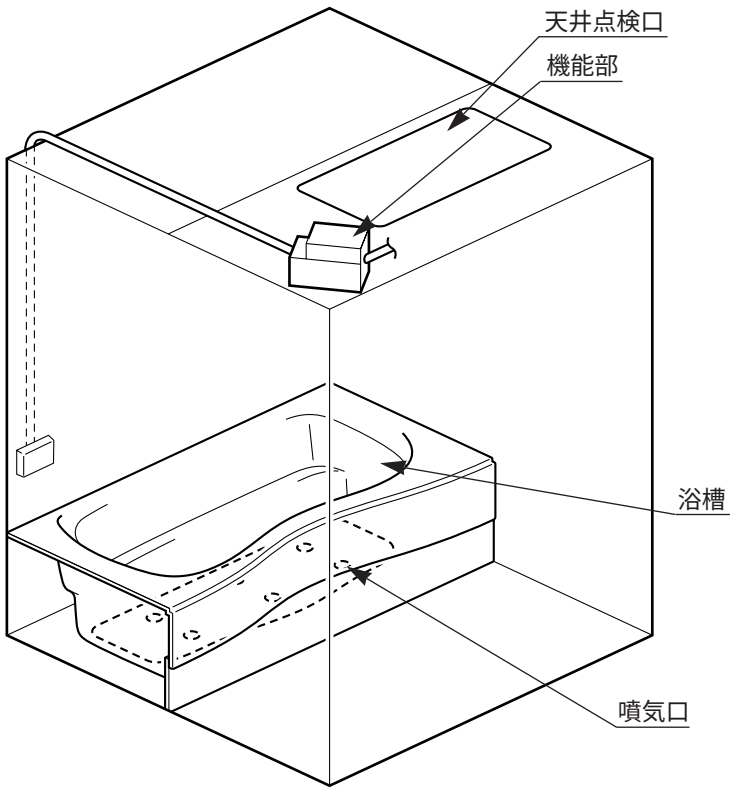
⚠警告

・安全カバーが外れたり破損したままで使用しないでください。
・使用するときは、吸込口や噴射口をふさがないでください。
・浴槽内にもぐらないでください。
・子供だけで入浴中の場合は、運転させないでください。
※髪や身体の一部が吸い込まれて、**おぼれたりケガをする恐れ**があります。

あわリズムの使い方

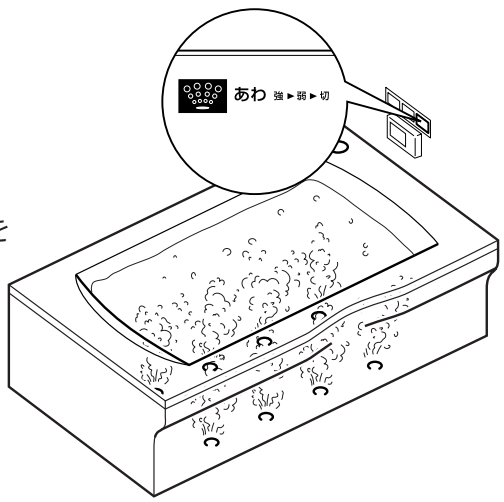
詳しくはあわリズムの取扱説明書をご覧ください。

各部の名称とはたらき



気泡の強さは、「強運転」、「弱運転」の2段階。
きめの細かい泡を発生し、全身をつつみ込みます。
「弱運転」では、さらにソフトな体感が得られます。

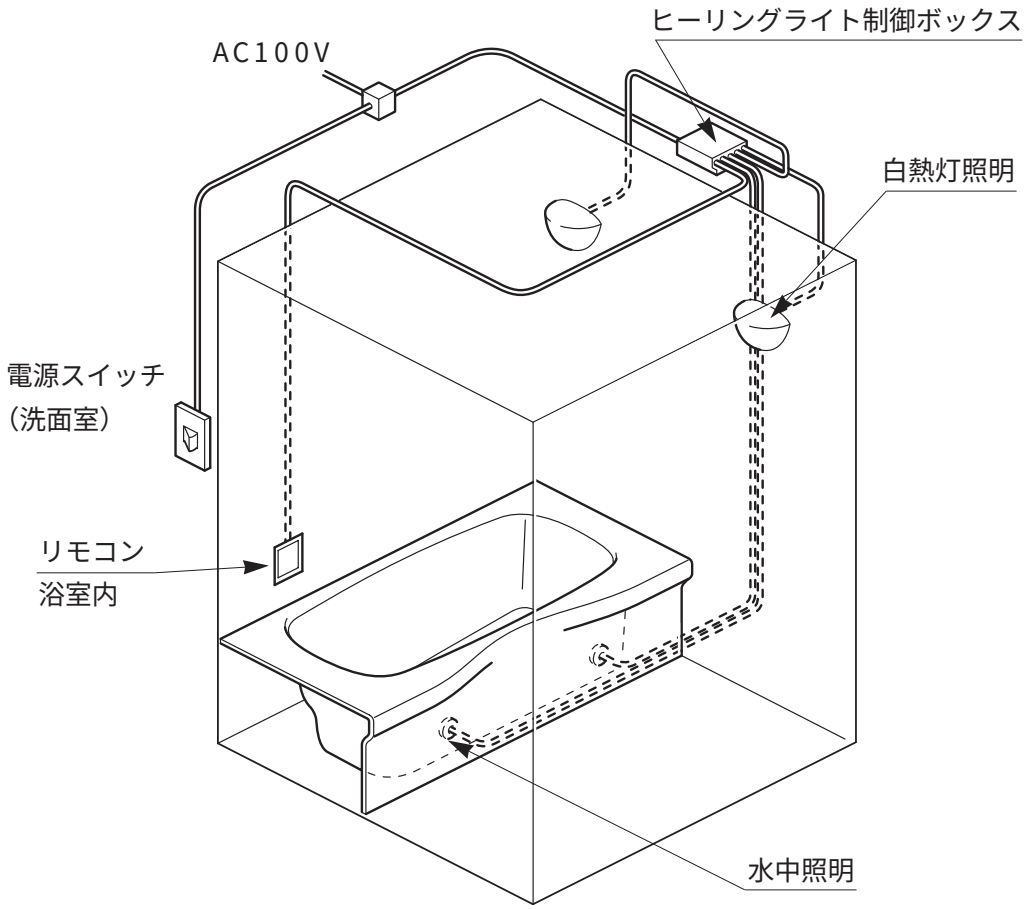
浴槽上縁面の操作スイッチで、運転・停止と強弱切替えを
1つのボタンで行えます。



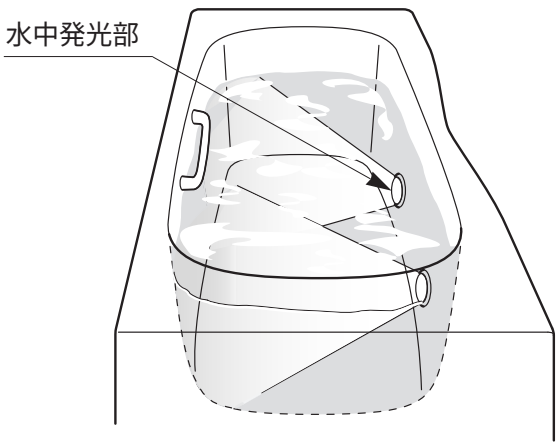
ヒーリングライトの使い方

詳しくはヒーリングライトの取扱説明書をご覧ください。

各部の名称とはたらき

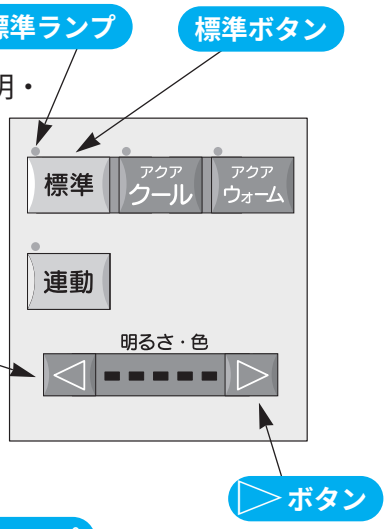


リモコン



洗面室の 電源スイッチ （照明スイッチ）を入にする。

・「標準」モードで立ち上がります。
・「標準」ランプが点灯し、白熱灯照明および天井埋込照明・フェイスライトが全て点灯します。



標準ボタン を押す。

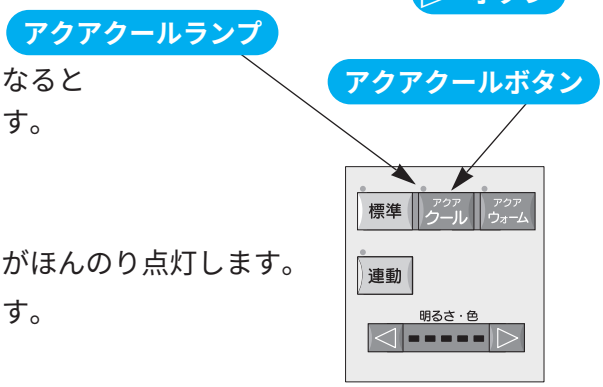
・「標準」ランプが点灯し、白熱灯照明および天井埋込照明・フェイスライトが全て点灯します。

◁ボタン を押す。

・白熱灯照明が段階的に暗くなり、（完全には消灯しません。）天井埋込照明・フェイスライトは消灯します。

▷ボタン を押す。

・白熱灯照明が段階的に明るくなり、最大になると天井埋込照明・フェイスライトも点灯します。



アクアクールボタン を押す。

・アクアクールランプが点灯し、白熱灯照明がほんのり点灯します。
※天井埋込照明・フェイスライトは消灯します。
・水中照明が青色に点灯します。

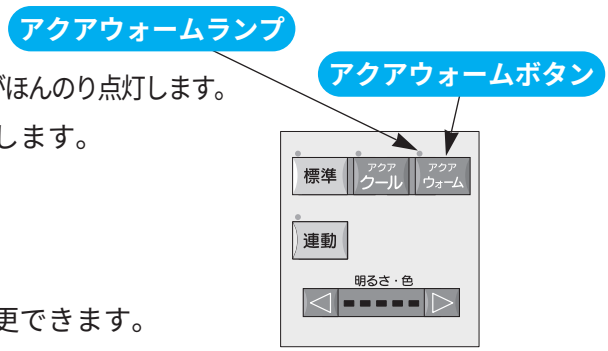
◁ボタン を押す。

・水中照明が白→緑→青緑→青→白→・・の順に変更できます。

▷ボタン を押す。

・水中照明が青緑→緑→白→青→青緑→・・の順に変更できます。

アクアウォームボタン を押す。



・アクアウォームランプが点灯し、白熱灯照明がほんのり点灯します。
※天井埋込照明・フェイスライトは消灯します。
・水中照明が黄色に点灯します。

◁ボタン を押す。

・水中照明が紫→赤→黄→・・の順に変更できます。

▷ボタン を押す。

・水中照明が赤→紫→黄→・・の順に変更できます。

連動の操作

連動機器（アクアジェット、あわリズム）がＯＦＦの状態のとき

連動ボタン を押す。

・「連動」ランプが点灯し、白熱灯照明および天井埋込照明・フェイスライトが全て点灯します。

連動機器（アクアジェット、あわリズム）の操作スイッチをＯＮにすると・・

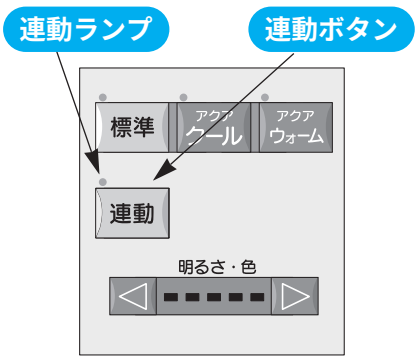
・「連動」ランプは点灯したままで、白熱灯照明がほんのり点灯します。

※天井埋込照明・フェイスライトは消灯します。

・水中照明がクール系統の色に点灯し、一定時間毎に色が変化（自動サイクル点灯）します。

連動機器（アクアジェット、あわリズム）の操作スイッチをＯＦＦにすると・・

・「連動」ランプは点灯したままで、水中照明が消灯し、白熱灯照明および天井埋込照明・フェイスライトが全て点灯します。



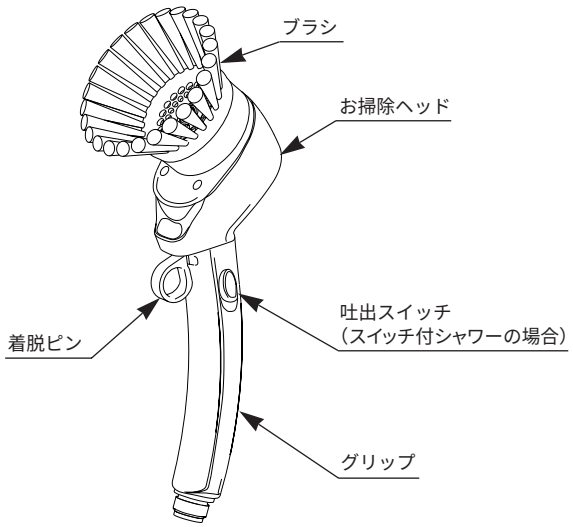
＊連動モードは連動機器の電流量を検知して作動します。アクアジェットのパルスモードなど電流量の少ない場合は自動サイクル点灯が中断する事があります。
また、連動モードのまま洗面室の電源スイッチ（照明スイッチ）を入にした場合、一瞬だけ水中照明が点灯する事がありますが、これは連動機器の初期電流量変化によるもので、異常ではありません。

お掃除シャワーの使い方

詳しくはお掃除シャワーの取扱説明書をご覧ください。

各部の名称とはたらき

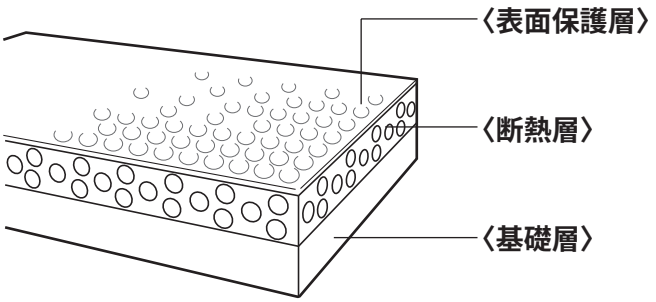
シャワーヘッドとお掃除ヘッドを交換するだけで、簡単にお掃除シャワーとしてご使用いただけます。
シャワーの水圧によってブラシが回転するため、水で洗い流しながらお掃除ができます。
※水圧が0.1MPa以下の場合は、回転力が不足してブラシが回らないことがあります。
※クレンザー・磨き粉を使用しないでください。
※光沢のある樹脂製品に強く押し付けて使用するとキズがついたり、光沢を失う場合があります。
※お掃除シャワーが使用できるタイプ以外は、シャワーヘッド以外の部分の交換が必要です。（マッサージシャワー等の機能との兼用はできません。）



サーモフロアについて

●サーモフロアのしくみ

サーモフロアは床本体（基礎層）の上に約2mm厚の微細な中空バルーンを含んだ、独自の断熱層を重ねた構造を採用しています。
この断熱層の効果で床に触れたときに足裏から逃げる熱を、従来の床に比べ約25%も低減しました。
その結果、浴室に入ったとき足に感じる「冷たさ」を軽減することができます。

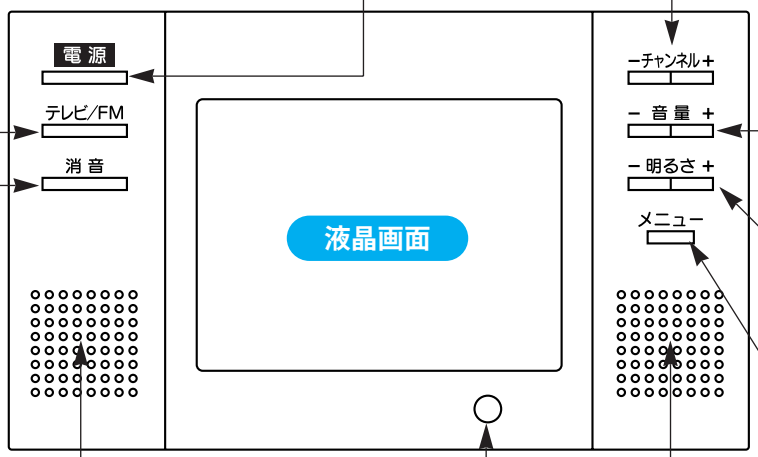


浴室テレビの使い方

詳しくは浴室テレビの取扱説明書をご覧ください。

各部の名称とはたらき

●テレビ本体



テレビ／FMボタン

テレビ放送とFM放送/外部入力を切り替えます。

電源ボタン

一度押すと電源が入ります。
再度押すと電源が切れます。

チャンネルボタン

・チャンネルを順送りで変更します。
・各種設定において、項目を選択します。

音量調節ボタン

・音量を調節します。
・各種設定において、設定値を調節します。

明るさ調節ボタン

明るさを調節します

メニューボタン

・各種設定メニューを呼び出します。
・各種設定において、項目を決定します。

消音ボタン

・一時的に音を消します。
・各種設定画面において前の画面に戻ります。

スピーカー部

リモコン受光部

スイッチ付ＣＣ（塩素除去）シャワーの使い方

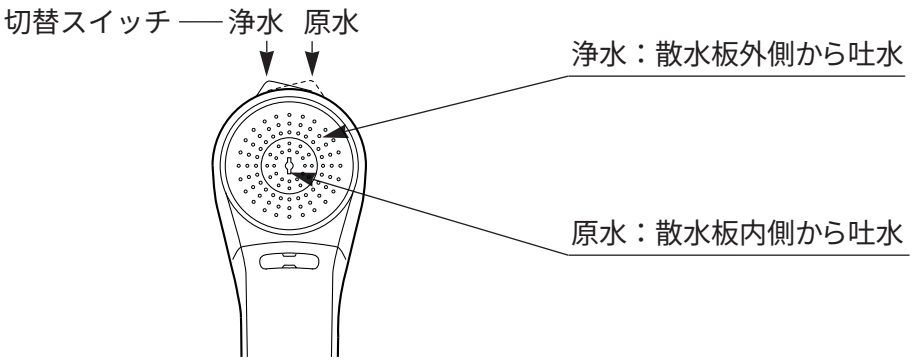
詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

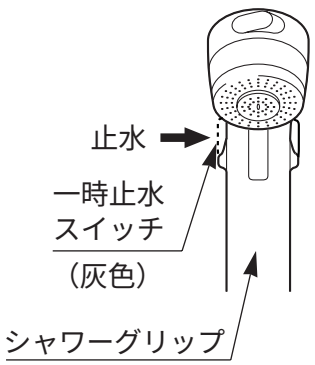
⚠注意

水栓やシャワーは、必ず湯温を確かめてお使いください。
※高温の湯が出て**ヤケドをする恐れ**があります。
●止水後もシャワーヘッドからポタポタと水が垂れる場合があります。長時間放置しても水が止まらない場合は、修理を依頼してください。

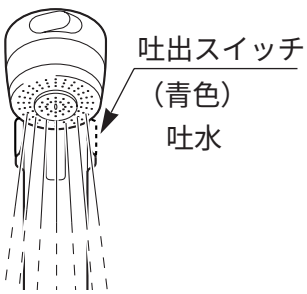
各部の名称とはたらき

シャワーヘッド先端の切替スイッチで浄水-原水の切替えができます。





シャワーの吐出を一時的に止めたいときはシャワーグリップの一時止水スイッチ（灰色）を押します。



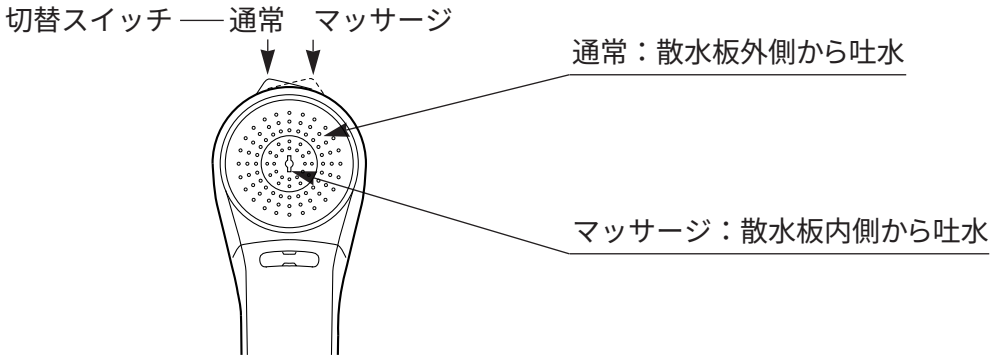
吐出を再開したいときは吐出スイッチ（青色）を押します。

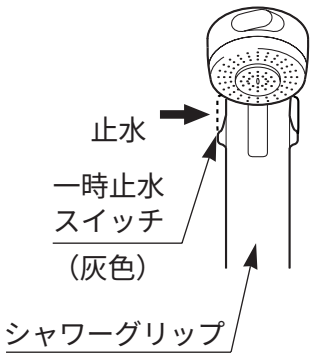
スイッチ付マッサージシャワーの使い方

詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

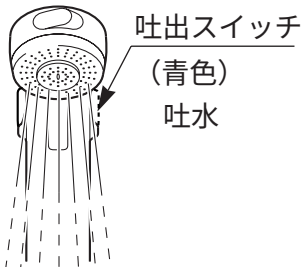
各部の名称とはたらき

シャワーヘッド先端の切替スイッチで切替えができます。





シャワーの吐出を一時的に止めたいときは
シャワーグリップの一時止水スイッチ（灰色）
を押します。



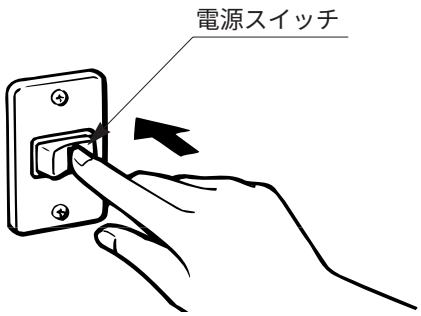
吐出を再開したいときは吐出スイッチ
（青色）を押します。

曇り止め機能付ミラーの使い方

照明と連動して曇り止めヒーターが作動し、鏡の曇りを除去します。浴室外にある電源スイッチを押して操作します。
※作動中は鏡の表面温度が上昇します。
　特に夏場等外気温が高い場合はご注意ください。
※消忘れに注意してください。

ワンポイント

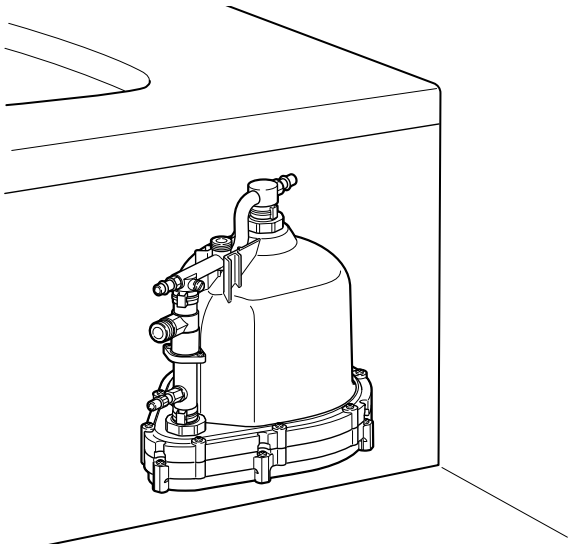
除曇に必要な時間は、時間、季節、環境により異なりますが、約15分程度で表面の曇りがとれ、使用可能になります。



即湯システムの使い方

詳しくは、即湯システムの取扱説明書をご覧ください。

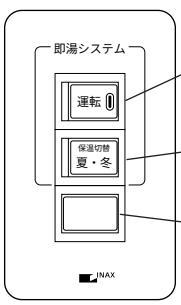
各部の名称とはたらき



このシステムは、エプロン裏側に設置されたタンクに温水を貯め、水栓使用時に配管等の冷水とタンク内の温水を混合して水栓にお湯を供給することで、水栓使用初期の冷水を少なくするシステムです。
これを即湯効果といいます。これは洗い場側水栓専用の機能です。浴槽側水栓にはこの機能はありません。
※水栓を短い間隔で使用されたり、使用流量が多い場合には使用途中に温度低下を生じやすくなることがあります。

⚠ 警告

タンクが空のときや水抜きをした後は、絶対に運転スイッチを入れないでください。
※異常に温度が上昇し、**火災や破損の原因**となります。



運転スイッチ
電源の入／切を行います

保温温度・切替スイッチ
夏：約70℃で保温
冬：約80℃で保温

空スイッチまたは照明用スイッチが取り付けられています。（このスイッチは即湯システムには関係ありません。）

全身シャワーの使い方

詳しくはシャワードバスの取扱説明書をご覧ください。

全身シャワーの使用

⚠警告

必ず温度を確認してから使用してください。
※高温の湯が出て**ヤケドをする恐れ**があります。

⚠注意

アームの操作はゆっくりと、無理な力をかけないように行ってください。
※壁とアームの間で指をはさんで**ケガをしたり、破損の原因**となります。

ハンドル操作の急閉止はおやめください。
※ウォーターハンマー（衝撃音）が発生することがあります。
※配管から漏水をおこし、**家財等をぬらす原因**となります。

1

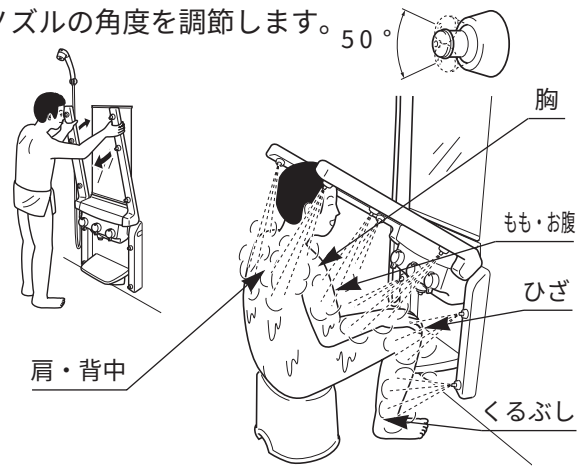
ハンドシャワー／吐水切替ハンドルを左へまわし、ハンドシャワーで温度を確認します。
確認後、表示ボタンを「止」にあわせ止水します。

2

ノズルからの噴霧が顔にかからない位置までアームを引き出します。全身シャワーハンドルを左へゆっくり回すと、ノズルよりお湯が噴霧されます。

3

アームをお好みの位置に合わせます。
ノズルの角度を調節します。



※身長145～185cmの人をめやすとしています。
※いすの高さは、30cm程度のもの をお勧めします。

ワンポイント
全身シャワーでは、ハンドシャワーや吐水にくらべ温度が低く感じられます。

4

全身シャワーハンドルの凸部を表示の「止」マークにあわせ、止水します。

ワンポイント
止水後、シャワードバス内の残水排水のため、しばらくの間ノズルよりお湯が排出されます。

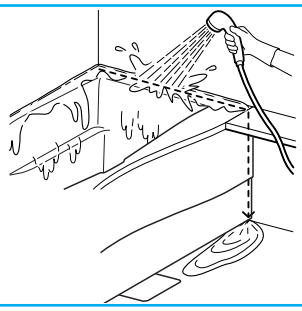
5

ご使用後は壁面へアームを立てかけ収納します。

お手入れ方法

入浴後のお手入れ

浴槽と壁のすき間にシャワーでお湯をかけます。
※すき間に入ったお湯は浴槽裏に設置してあるオーバーフローガイドを通ってエプロン下部両端から排水されますので心配ありません。
※すき間が汚れている場合は毛先の長いやわらかいブラシ等で掃除してください。
※シャンプー等の泡が壁パネル等に残るとカビが発生しやすくなるので、シャワーで洗い流してください。



壁・天井のお手入れ

洗剤や洗剤に溶け込む人体の油脂類等が壁に付着しますと、カビの発生の原因となります。最後の入浴がすみましたら、シャワーで壁に散水し、ヨゴレを落としてください。また1週間に1度程度、うすめた浴室用合成洗剤をスポンジ等柔らかいものに付けて洗い、よくシャワーで洗い流し、換気を充分とってください。
また数ヶ月に1度程度、天井も壁と同様に水を含ませた柔らかい布でヨゴレをよくふきとってください。
※汚れたまま放置しますとヨゴレが取れなくなる場合があります。

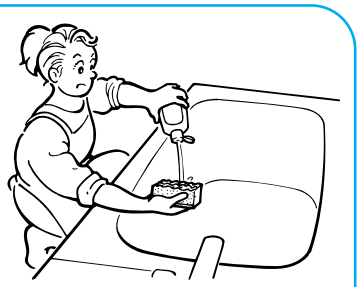
日頃のお手入れ

共通

クレンザー・磨き粉・ラッカー・シンナー・アルコールまたは、アンモニア、苛性ソーダ、塩酸等の薬品や漂白剤は使用しないでください。漂白剤やカビ取り剤を使用する場合は、必ずその取扱説明書を読んで、正しくお使いください。
※**キズ、変色等の原因**になります。
また、サンドペーパーやタワシの使用も、光沢を失わせキズをつけるのでおやめください。

浴槽や風呂フタ・床のお手入れ

入浴後の湯を放置すると、浴槽の内面に緑青や白いヨゴレ（金属石鹸）が付いて落ちにくくなります。市販のクリームクレンザーを使用して磨けば落ちますがクレンザーの多用は浴槽表面を傷つけ、光沢を失います。浴槽や風呂フタを長くきれいに使うため入浴後はできるだけすみやかに排水、掃除をしてください。
掃除：うすめた浴室用合成洗剤をスポンジか柔らかい布に付けて洗い、その後水でよく洗い流してください。風呂フタはよく乾燥させてください。
※イデアトーン浴槽には、クレンザーのご使用はお控えください。



ワンポイント 入浴後はすみやかに排水、掃除をされることをお勧めします。また浴槽の底にたまったゴミや鉄粉はよく洗い流してください。放置すると取れなくなる場合があります。

ドアのお手入れ

浴室用合成洗剤を柔らかい布に付けて、ふき洗いしてください。
ドアやドアの下、ドアの廻りのパッキン等、ヨゴレがひどい場合は、歯ブラシ等にうすめた浴室用合成洗剤を付けて洗ってください。
洗剤で洗った後は、洗剤が残らないように、湿らせた布でよくふきとってください。
ガラリ部分（空気取入口）も目詰まりしないよう、こまめに掃除機等で清掃を行ってください。
ドアを洗う場合に、ドアに直接水をかけないようにしてください、ドア外へ水が飛散する場合があります。

鏡・カウンター・収納部・点検口・窓枠のお手入れ

浴室用合成洗剤をうすめてスポンジ等柔らかいものに含ませてふいてください。
ふいた後は湿らせた布できれいに洗剤をふきとってください。
※シャワーの水滴がカウンターに滴下、乾燥を繰り返すうち、水道水中の水アカがカウンターに付着してとれなくなることがあります。こまめにカウンター上の水残りはふきとってください。
※硬いものでたたいたり、ぶつけたりしないでください。キズがつきます。
※カウンター周りの突起や角に注意してください。

⚠ 注意

浴槽とエプロン・カウンターのすき間に指をはさまないように注意してください。
※**ケガをする恐れ**があります。

週1回程度のお手入れ

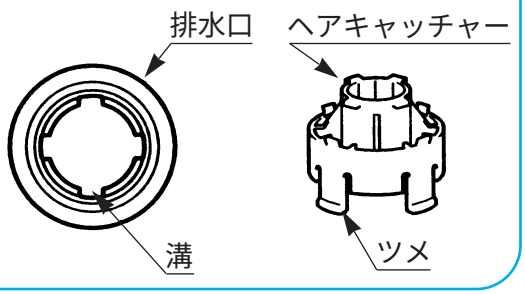
浴槽排水口のお手入れ

●外付型の場合

排水口のゴミ等は、週に１度は取り除いてください。

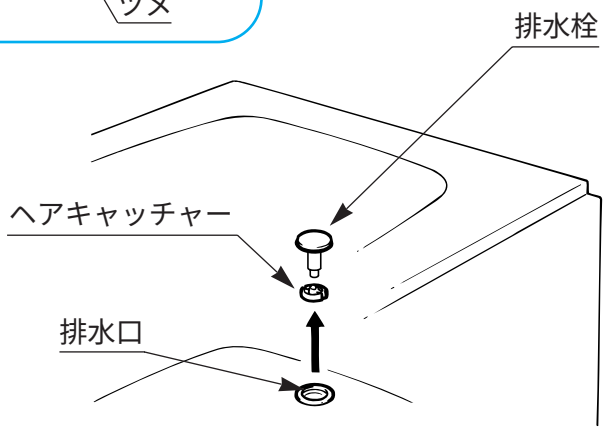
1

排水栓を取り外します。
※排水栓を取り外した時ヘアキャッチャーがいっしょに外れてしまった場合はヘアキャッチャーを排水栓からはずします。
排水口内の溝にツメがはまるように向きを合わせて、カチンというまではめ込んでください。



2

ヘアキャッチャーについているゴミを取り除いてください。
※取り除いたゴミ等は、直接流さないでください。
排水管の詰まりの原因となります。



3

排水栓を排水口に付けます。
※カチンというまではめ込んでください。

4

プッシュボタンを押して排水栓の開閉を確認してください。

●内蔵型・オート排水栓の場合

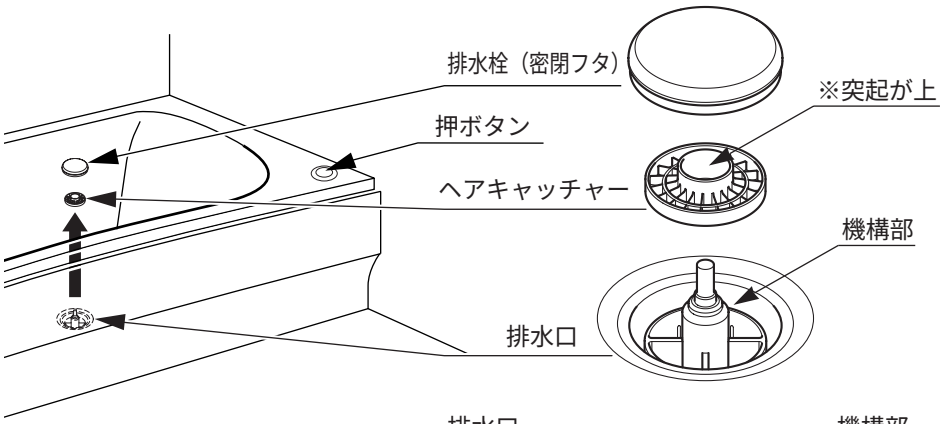
排水口のゴミ等は、週に１度は取り除いてください。

1

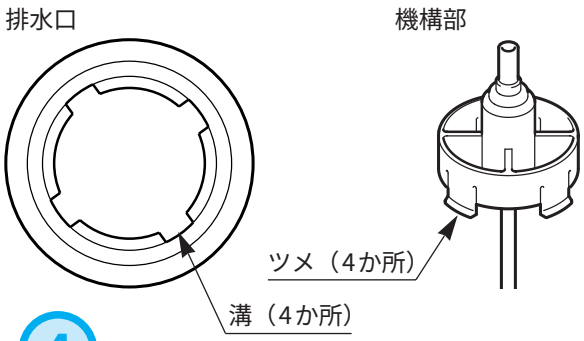
排水栓（密閉フタ）をまっすぐ上に引っ張って取り外します。

2

排水口からヘアキャッチャーを取り外します。



※機構部も外れてしまった場合は、排水栓（密閉フタ）を機構部から外し、排水口内の溝に機構部のツメがはまるように向きをあわせて、カチンというまではめ込んでください。（右図参照）



3

ヘアキャッチャーについているゴミを取り除き、突起を上にして取り付けます。
※取り除いたゴミ等は直接流さないでください。排水管の詰まりの原因となります。

4

排水栓（密閉フタ）を排水口に取り付け、押ボタンを押して開閉を確認します。
※排水栓（密閉フタ）は、カチンというまではめ込んでください。

水栓金具・タオル掛のお手入れ

水栓金具、タオル掛は週に1回程度、乾いた柔らかい布でふいてください。
※硬いものでたたいたり、ぶつけたりしないでください。キズがついたり、メッキがはがれたりします。
※ アルカリ性洗剤や酸性物が付かないようにしてください。メッキを傷めます。
※水栓金具については各取扱説明書を参照ください。

タイルの目地のお手入れ

壁タイルの目地材は、ヨゴレの付着しにくいスーパークリーン目地を採用していますが、少なくとも週1回は布またはスポンジに浴室用合成洗剤をつけて、目地部のヨゴレをふきとってください。
また、目地に著しくカビが発生しているときは、市販のカビ取り剤や洗濯用、あるいはキッチン用漂白剤をお使いください。
※床にカビ取り剤等が付着すると変色する恐れがありますのでシート等で床を保護してください。
また、防カビ剤を塗布しますと、カビの発生が少なくお手入れが楽になりますが、アルカリ性の洗剤を使用した場合は、使用後きちんと水で洗い流してください。
床を傷める場合があります。

お願い
漂白剤やカビ取り剤・防カビ剤を使用する場合は、必ずその取扱説明書をよく読んで、正しくお使いください。

握りバーのお手入れ

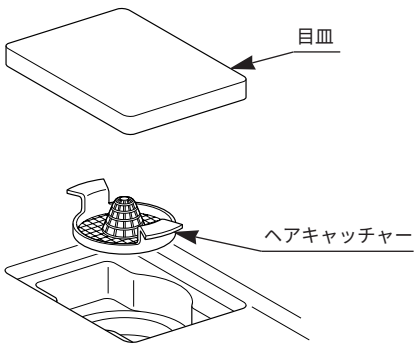
ヨゴレは、乾いた柔かい布でふきとってください。ヨゴレがひどいときは、うすめた浴室用合成洗剤をしみ込ませた布でふき、そのあと必ず水ぶきしてください。

浴槽への自動湯張り、追いだき機能の給湯口のお手入れ

自動湯張り、追いだき機能の給湯口は給湯器の機能ですので、別途、各機器の取扱説明書を参照ください。

床排水トラップのお手入れ

目皿とヘアキャッチャーを取り外し、ヘアキャッチャーや排水トラップ周辺のゴミを取り除いてください。
※ゴミ等は週に1度は取り除いてください。
取り除いたゴミ等は直接流さないでください。排水管の詰まりの原因となります。



月1度のお手入れ

折り戸（親子折り戸共通）・開き戸（親子開き戸共通）の排水溝のお手入れ

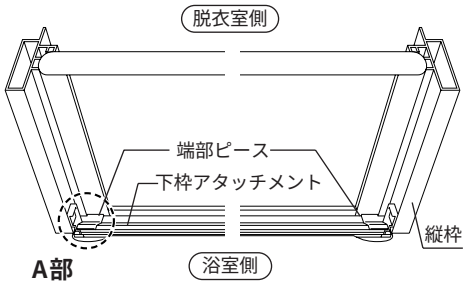
折り戸（親子折り戸共通）の場合

清掃時のお願い

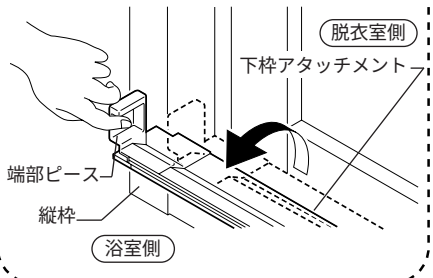
●下枠部の洗浄は中性洗剤以外は使用しないでください。
排水部品が損傷し、漏水の原因になります。
●脱衣室側を清掃する場合は、浴室側へゴミを掃き出さないでください。ドア下枠の排水が詰まることがあります。

下枠部を清掃する場合の下枠アタッチメントの外し方

●端部ピースに指先をかけて、下枠アタッチメントを外します。
※取り付ける際は、逆の要領で行ってください。



■A部詳細図
端部ピースに指先をかけて、上に引き上げながら、浴室側に向けて取り外します。



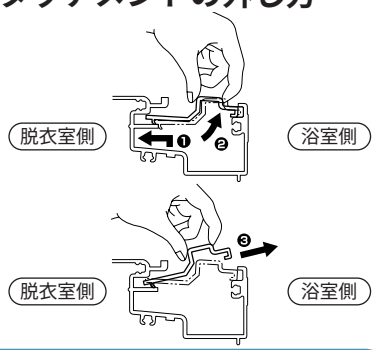
開き戸（親子開き戸共通）の場合

清掃時のお願い

●下枠部の洗浄は中性洗剤以外は使用しないでください。
排水部品が損傷し、漏水の原因になります。
●下枠部の清掃は定期的に行ってください。
脱衣室側への漏水の原因になります。

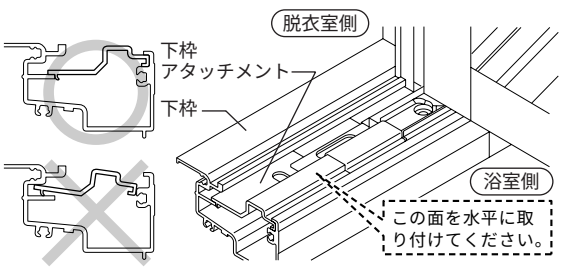
下枠部を清掃する場合の下枠アタッチメントの外し方

●ドアを全開にします。
①下枠アタッチメントをつまんで脱衣室側をもち上げてスライドします。
②浴室側を引き上げます。
③浴室側へ向けて取り外します。
※取り付ける際は、逆の要領で行ってください。



⚠注意

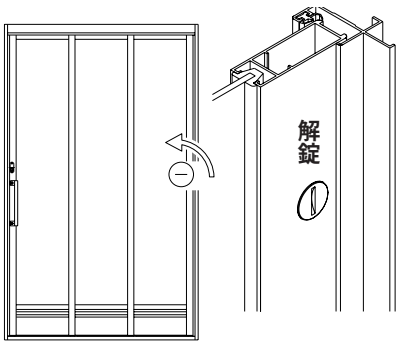
下枠アタッチメントを右図の様に正しく取り付けてください。
※正しく取り付いていないと**漏水の原因**になります。



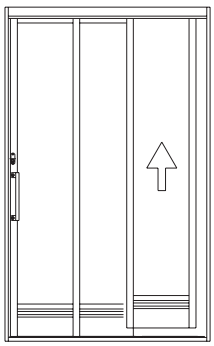
片引き戸・3枚引き戸の排水溝のお手入れ

下カバーの外し方

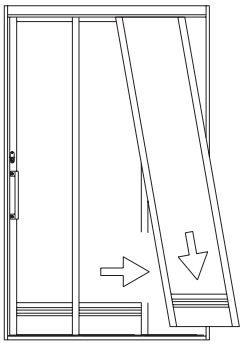
1 固定側障子のロックをマイナスドライバー等で解錠します。



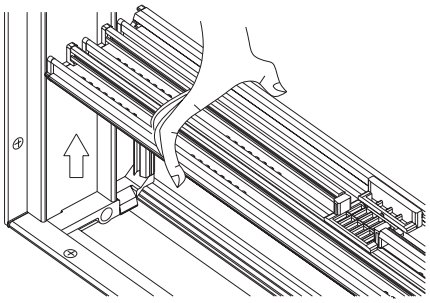
2 障子を持ち上げます。



3 下部を手前に引きながら下すと障子が外れます。この手順で全て外してください。



4 下レールをつまみ、持ち上げて外します。

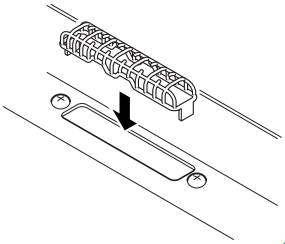


5 レールやドア枠のゴミを取り除いてください。

6 お手入れの後は、取外しと逆の手順で取り付けます。
※下レールは「カチッ」と音がするまで確実に取り付けてください。
※取り除いたゴミ等は、直接流さないでください。排水管詰まりの原因になります。

ワンポイント

全てのドアのドア下排水口には、ヘアキャッチャーがついています。排水口のお手入れの際は、ヘアキャッチャーを取り外してゴミを取り除いてください。お手入れの後は、ヘアキャッチャーを忘れずに取り付けてください。
※ヘアキャッチャーのツメを排水口に確実に取り付けてください。



念入りなお手入れ

壁パネルのお手入れ

浴室用合成洗剤をうすめてスポンジ等柔らかいものに含ませてふいてください。ふいた後は湿らせた布できれいに洗剤をふきとってください。
※硬いものでたたいたり、ぶつけたりしないでください。キズがつきます。

ワンポイント 入浴後に壁パネル等に付着した泡等をシャワーで洗い流して、よく乾燥させるとカビが発生しにくくなります。

天井・照明カバーのお手入れ

浴室用合成洗剤をうすめてスポンジ等柔らかいものに含ませてふいてください。ふいた後は湿らせた布できれいに洗剤をふきとってください。
※硬いものでたたいたり、ぶつけたりしないでください。
キズがつきます。

曇り止め機能付ミラーのお手入れ

⚠ 警告

分解や改造をしないでください。
※**感電や漏電、火災の原因**となります。

自家修理や移設を行わないでくだい。
※**感電や漏電、火災の原因**となります。

使用しないで

洗剤、洗浄剤を直接ふりかけないでください。酸性、アルカリ性の液（トイレ洗浄剤、カビ取り剤等）は使用しないでください。
※ヒーター各部を損傷し、**故障や劣化、または鏡の黒ズミの原因**となります。

⚠ 注意

鏡の周囲をお掃除する際、必要以上に強い力を加えないでください。
※**ケガをする恐れ**があります。

浴槽下のお手入れ

⚠ 注意

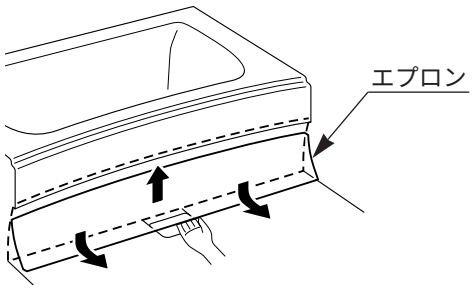
ケガに注意

浴槽下のお手入れは、腕が露出しない服装で、ゴム手袋を使って行ってください。
※**ケガをする恐れ**があります。

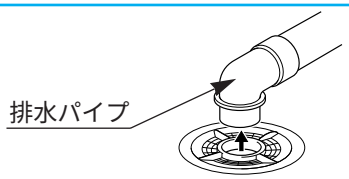
浴槽下には直接、腕や手を入れないでください。
※突起部などで**ケガをする恐れ**があります。

エプロンの取外しおよび取付けは、エプロン下中央を持って行ってください。
※端を持つと、防水パンとエプロンの間に指をはさみ、**ケガをする恐れ**があります。

1 エプロンを取り外します。
エプロンの下中央を持ち、軽く押し上げながら、手前に引き出します。

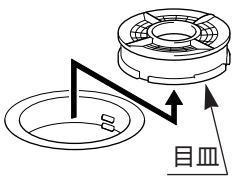


2 排水パイプを取り外します。



3 目皿（弁付き）を取り外し、目皿や排水トラップ周辺のゴミを取り除いてください。

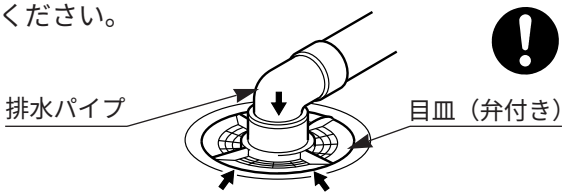
※取り除いたゴミ等は、直接流さないでください。排水管詰まりの原因になります。



4 お手入れの後は取外しと逆の手順で取り付けます。
※エプロンが防水パンに納まりにくい場合は、浴槽フランジを少し持ち上げるようにして、納めてください。

⚠ 注意

お手入れの後は目皿と排水パイプを確実に差し込んでください。
※浴室から水があふれる恐れがあります。



換気扇、換気乾燥暖房システム、温水式換気乾燥暖房機のお手入れ

⚠ 警告

火事・ケガについての警告

修理技術者以外の人は、絶対にルーバー以外は分解したり修理・改造は行わないでください。
※**発火したり異常動作してケガをする恐れ**があります。

感電・ケガについての警告

換気扇や暖房機のお手入れは必ず電源を切ってから行ってください。
※**感電やケガをする恐れ**があります。

⚠ 注意

故障・漏電に注意

換気扇や暖房機に水をかけないでください。
※**故障や漏電する恐れ**があります。

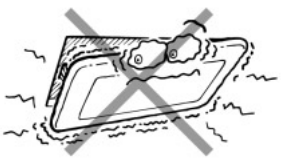
ヤケドに注意

暖房機の場合、運転停止後はすぐにヒーターなど本体にふれないでください。
※**ヤケドをする恐れ**があります。

ケガに注意

高い所での作業になります。ホコリの落下と足場には十分にご注意ください。
浴槽やカウンター洗面器台の上にのって作業をしないでください。
※**ケガをする恐れ**があります。

ルーバーやエアフィルターは確実に取り付けてください。
※落ちて**ケガをする恐れ**があります。



ゴム手袋を使ってお手入れしてください。
※**ケガをする恐れ**があります。

クレンザー・磨き粉・ラッカー・シンナー・アルコールまたは塩酸等の薬品や漂白剤は使用しないでください。
※**キズ、変色等の原因**になります。
また、サンドペーパーやタワシの使用も、光沢を失わせキズをつけるのでおやめください。

長くお使いいただくために

アクアジェット・あわリズム・即湯システム・ヒーリングライトは各取扱説明書をご覧ください。

シャワーや吐水口からの水量が少なくなったと感じたら

ストレーナーのお手入れ

ストレーナー等のゴミ詰まりは機能を低下させます。ときどき次の要領で掃除してください。

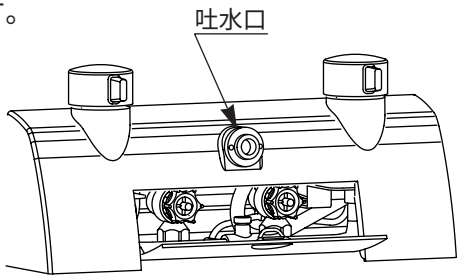
逆止弁のストレーナー掃除

詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

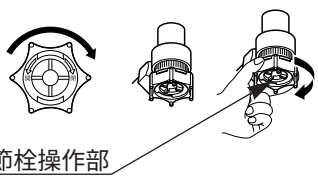
⚠ 注意

ストレーナーを掃除する際、配管、カウンター、取付金具に注意してください。
※**ケガをする恐れ**があります。

1 吐水口奥のフタを開けると流量調節栓があります。

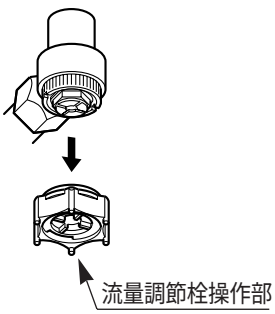


2 手で流量調節栓の操作部を回し流量調節栓を閉じます。(時計回りいっぱいに回します。)

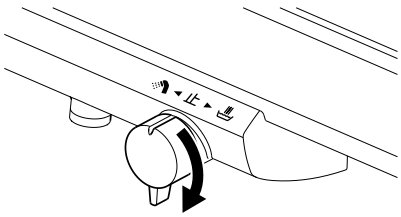


※流量調節栓は湯側(赤)と水側(青)の両方を閉じてください。
※流量調節栓の位置を覚えておいてください。

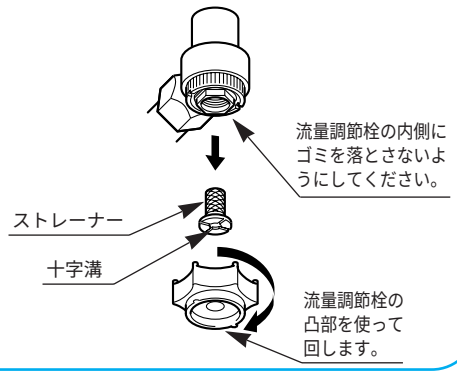
3 流量調節栓の操作部を外します。
※操作部は流量調節栓を完全に閉じた状態でないと取外し、取付けできません。
※流量調節栓の耐圧性能は0.75MPaです。



4 シャワー・バス切替ハンドルを吐水口側で全開にします。
※水栓内部の圧力を抜くとともに、流量調節栓により止水していることを確認してください。
※確認後、ハンドルを「止」の位置に戻します。

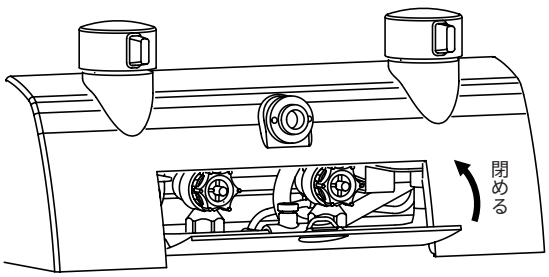


5 ストレーナーを取り外し、ゴミ等を洗い流します。
※ストレーナーは湯側と水側の両方に付いています。
湯水両方のストレーナーのゴミ等を取り除き、水洗いしてください。



6 取付けは逆の手順で行い、流量調節栓は元の位置（②で覚えておいた位置）まで開きます。

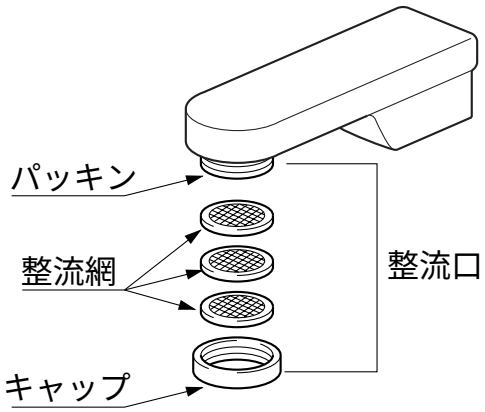
7 フタを閉めます。



整流口のお手入れ

詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

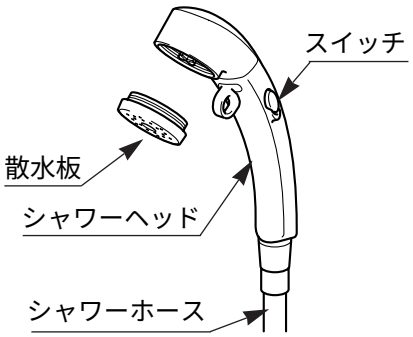
手でキャップを回して整流口を取り外し、整流綱のゴミ等を取り除き、水洗いしてください。



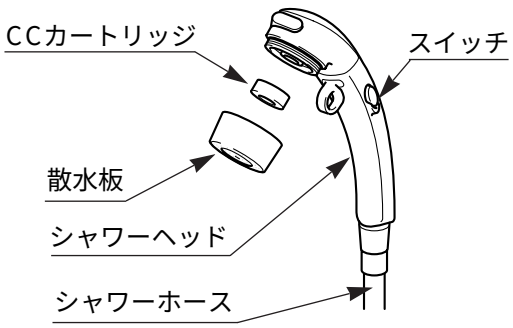
シャワー散水板のお手入れ

詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

手で散水板を回して取り外し、ため水ですすぎ、ゴミを洗い流します。



＜スプレーシャワー＞



＜スイッチ付CC（塩素除去）シャワー＞

※スイッチ付のシャワーの場合、シャワーヘッドからシャワーホースを外さないでください。
※スプレーシャワーのイラストはスイッチ付（オプション）です。

照明用ランプの交換

電源スイッチを入れても照明がつかない場合はランプが切れていることが考えられます。
電源スイッチを切って、次の要領で交換してください。
交換しても照明がつかない場合は、お求めの販売店へご連絡ください。

⚠ 警告

感電・ケガについての警告

ランプの交換は必ず電源スイッチを切ってから行ってください。
※**感電やショートする恐れ**があります。

ぬれた手で交換作業をしないでください。
※**感電やケガをする恐れ**があります。

感電・火災についての警告

ランプの交換以外の照明器具の分解、改造は絶対に行わないでください。
※**感電や火災、ショート、故障の原因**になります。

⚠ 注意

故障・漏電に注意

照明カバーを外した状態で照明器具に直接水をかけないでください。
※**故障や漏電をする恐れ**があります。

ランプは必ず指定された種類、ワット数のものをご使用ください。
※**故障する恐れ**があります。

ランプおよびゴムパッキン、キャップ等ソケットの部品は確実に取り付けてください。
※**感電、ケガ、故障、動作不良の原因**となります。

ケガに注意

ランプの交換は高いところでの作業になります。足場に十分ご注意ください。
浴槽の上にのって作業をしないでください。
※**ケガをする恐れ**があります。

照明カバーは確実に取り付けてください。
※落下して**ケガをする恐れ**があります。

ヤケドに注意

ランプが切れてもすぐに交換しないでください。
※器具やランプが熱くなっており、**ヤケドをする恐れ**があります。

ダウンライトの交換

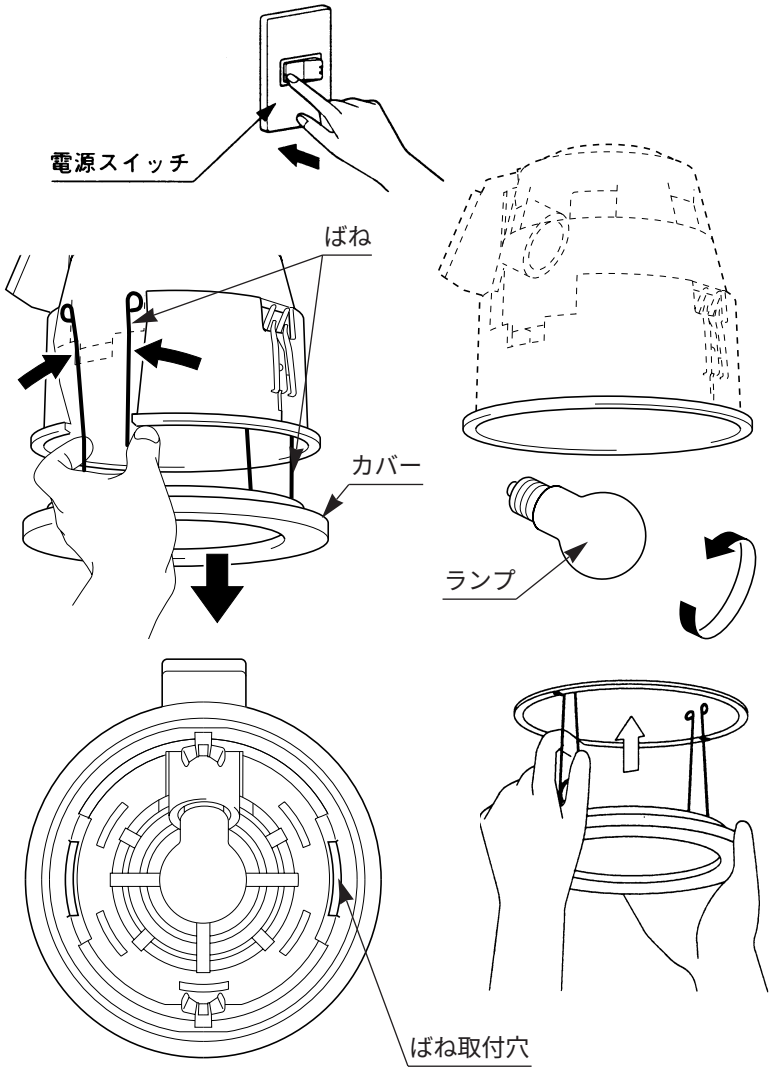
①照明の電源スイッチを切ります。

②照明カバーを引き下げ、ばねをせばめながら取り外します。

③ランプを取り外し、新しいものと交換します。
※スイッチを切って間もないうちはランプが熱くなっていますので、冷ましてから交換してください。

④カバーのばねをせばめながら、照明内のばね取付穴に差し込み、カバーを上方に押し上げて固定します。

⑤照明スイッチをONにして点灯することを確認してください。



⚠ 注意

固定クリップのツマミ部分が本体内側にありますので注意してください。

固定クリップの位置は動かさないでください。
※本体が天井から外れる恐れがあります。

適合ランプについて

●適合ランプ

ミニクリプトン電球　60Wまで（E17口金）

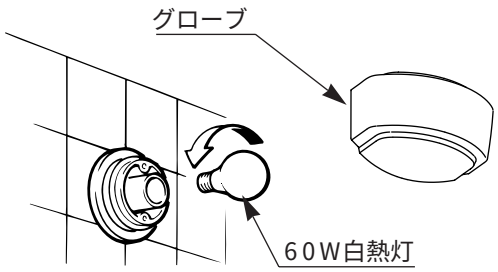
●おすすめ交換ランプ

KR100/110V57W/W

・適合ランプをご確認のうえ、正しいランプと交換してください。
・指定以外のランプは使用できません。
・調光機能があります。電球形蛍光ランプは使用できません。また、調光器具対応の電球形蛍光ランプも使用できません。

白熱灯の交換

1.照明スイッチを切ります。
2.グローブを左に回して取り外します。
4.電球を取り外し、新しいものに交換します。
4.グローブを右に回してしっかりと取り付けます。
　間接照明の場合は､水平になるように取り付けます。
5.照明スイッチを入れて点灯することを確認します。



適合ランプについて

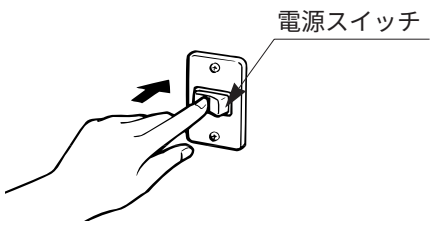
本体表示にしたがって､下記の指定されたのランプを使用してください。
※ 指定以外のランプを使用しますと火災の原因となります。

適合ランプ	おすすめ交換ランプ
ホワイト電球　６０Ｗまで	ＬＷ１００Ｖ５４Ｗ

フェイスライト縦形照明用蛍光ランプの交換

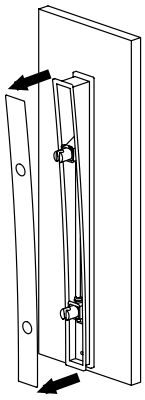
1 交換の前に

浴室外のスイッチを操作して照明の電源を切ってください。



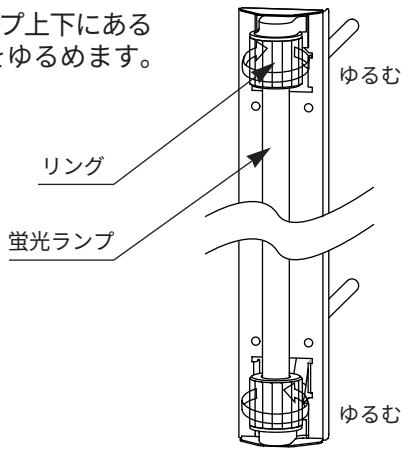
2 照明カバーの取外し

シャワーフックからシャワーヘッドを取り外し、照明カバーを手前に引き出します。

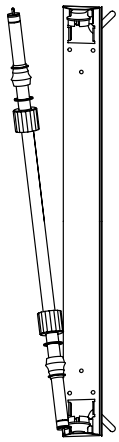


3 蛍光ランプの交換

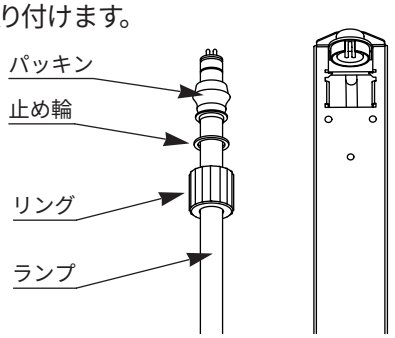
1. 蛍光ランプ上下にあるリングをゆるめます。



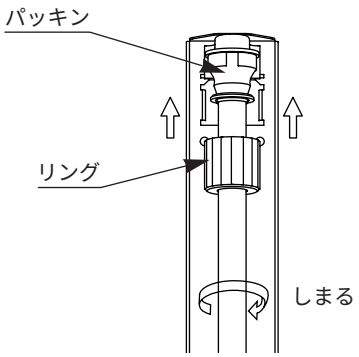
2. リングの中にある止め輪、パッキンをずらします。蛍光ランプを外します。



3. 新しい蛍光ランプにリングと止め輪、パッキンを付け替え、蛍光ランプの端子をソケットのミゾに合わせて取り付けます。

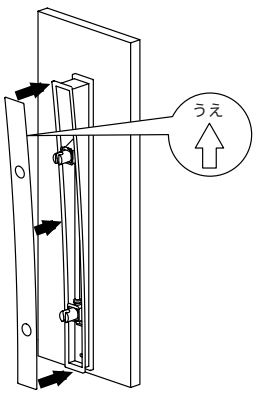


4. パッキンがソケットに当たるまでずらし、止め輪を押し当てリングをきちんとねじ込みます。



4 照明カバーの取付け

照明カバーの取付方向に注意してはめ込みます。
※照明カバー裏側に方向が表示してあります。



適合ランプについて

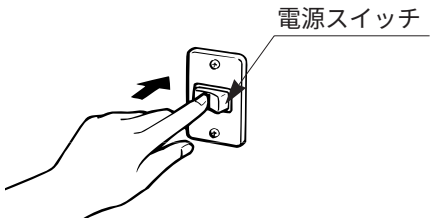
◯適合ランプ
・高周波点灯専用細形蛍光ランプ　24W

◯おすすめ交換ランプ
・FHF24SEN

フェイスライト横形照明用蛍光ランプの交換

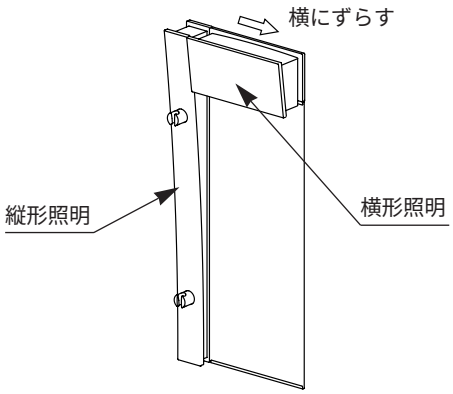
1 交換の前に

浴室外のスイッチを操作して照明の電源を切ってください。



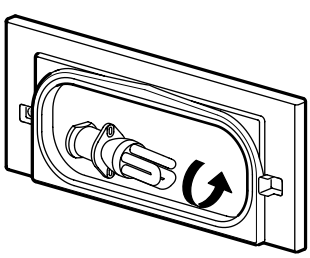
2 照明カバーの取外し

横形照明カバーを横にずらし、外します。
※縦形照明とは反対側に照明カバーをずらします。
　縦形照明が逆の向きにある場合、カバーをずらす向きも逆になります。

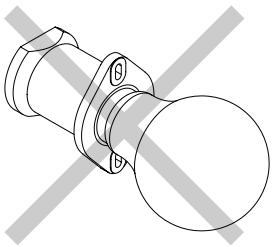


3 蛍光ランプの取外し

1.蛍光ランプをゆるめて外します。
　※縦形照明が逆の向きにある場合、
　　ランプも逆を向いています。

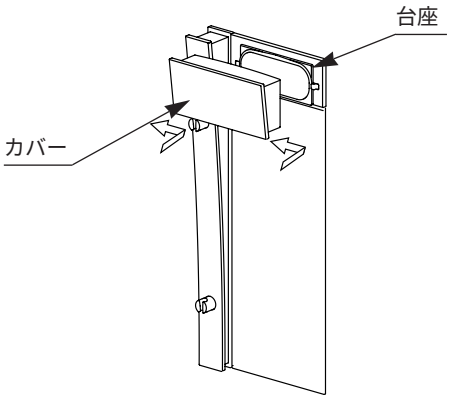


2.新しい蛍光ランプを取り付けます。
※白熱灯は使えません。



4 カバーの取付け

カバーを台座にあわせ取外しと逆の手順で取り付けます。



適合ランプについて

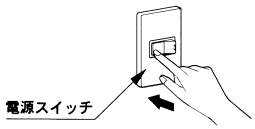
◯適合ランプ
・電球形蛍光ランプ　12W

◯おすすめ交換ランプ
・EFD12EL

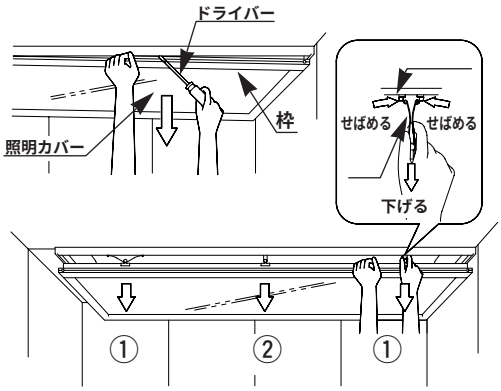
蛍光灯の交換

●天井埋込照明の場合

①照明の電源スイッチを切ります。



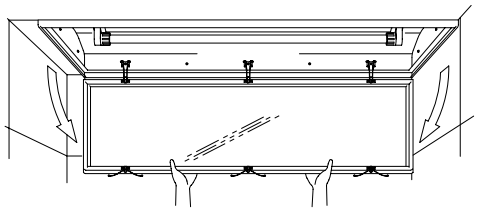
②照明カバー全体を引き下げます。
このとき、マイナス（－）ドライバーで枠の周囲をこじると枠がつかみ易くなります。



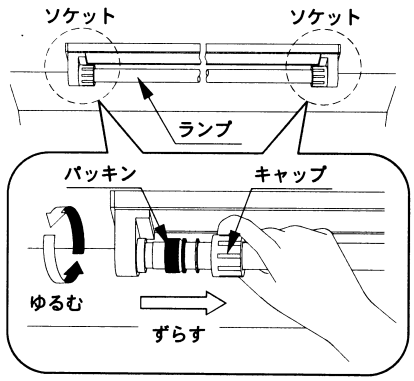
③照明カバーを吊り下げているばねを外します。
ばねは手前側に2か所または3か所あります。
3か所ある場合は**両端のばねを先に外します。**

④ばねの両端をせばめて下方に引き下げ、受け金具から外します。

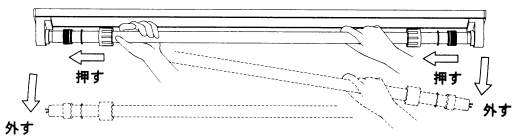
⑤手前側のばねをすべて外し、両手で照明カバー全体を支えながらゆっくり下げます。
このとき奥側のばねは引っ掛けたままにしておきます。



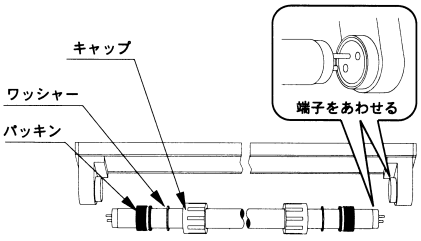
⑥ランプ両端のソケットについているキャップをゆるめ、中のパッキンをずらします。



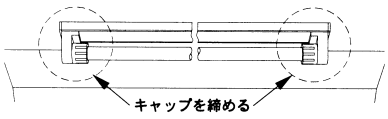
⑦ランプを片側のソケットに押しつけながら外します。



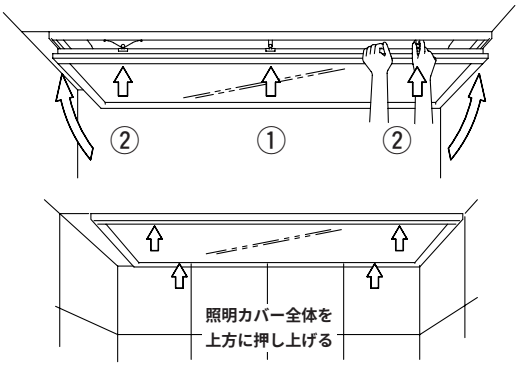
⑧キャップ、ワッシャー、パッキンを外し新しいランプに取り付け、外し方と逆の手順でソケットに取り付けます。
ランプとソケットの端子をきちんとあわせてください。



⑨パッキンを両端にずらし、キャップを締めます。



⑩照明カバーを持ち上げながら、ばねを固定します。ばねが3か所ある場合は**中央のばねを先に引っ掛けます。**
ばねは取外しと逆の手順で、両端をせばめながら受け金具に引っ掛けます。



適合ランプについて

◯適合ランプ
・ラピッドスタート形蛍光ランプ　40W

◯おすすめ交換ランプ
・FLR40S

交換部品のご案内

INAXでは、お客さまご自身で交換可能な部品を用意しております。
なお、本頂で紹介していない修理等はおやめください。

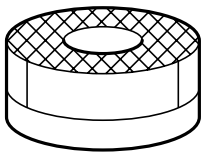
交換部品について

CC(塩素除去)シャワーのカートリッジ

詳しくは、CC(塩素除去)シャワーの取扱説明書をご覧ください。

交換部品名称	交換部品品番	価格(送料別途)
CCシャワー交換用 カートリッジ（2ヶ入り）	KS-6E	2,800円

カートリッジは標準的な水道水で約4000L使用できます。
(1日に60L使用した場合、約2ヶ月です。)
次の場合はカートリッジを交換してください。

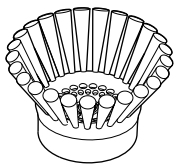


●カルキ臭がしてきた時
●汚れた水が出たり、カートリッジが著しく汚れた時
●シャワーの水量が著しく減った時
●長時間(夏期1ヶ月、冬期2ヶ月)使用しなかった時
※交換時期は使用水量、水質、水圧、水温によって短くなることがあります。

お掃除シャワーのブラシ

詳しくはお掃除シャワーの取扱説明書をご覧ください。

INAXでは、お客様ご自身で交換可能な部品(ブラシセット)を用意しています。



交換部品名称	交換部品品番	価格(送料別途)
ブラシセット(2ヶ入り)	SJS-BR1	2,200円

注意

ブラシには、毛を植えるための金属が埋め込まれています。廃棄される場合は、燃えないゴミとして廃棄してください。

交換部品の購入方法

上記の交換部品の名称と品番をご指定ください。

販売店等で購入される場合	宅配サービスをご利用される場合
INAX商品の販売店、または お近くのINAXショールーム でお求めください。	(株) INAXメンテナンス宅配サービスにて承ります。 (宅配サービスの場合は、送料が別途必要となります。) **0120-00-1794** 受付時間9:00～17:00 (土、日、祝日を除く)

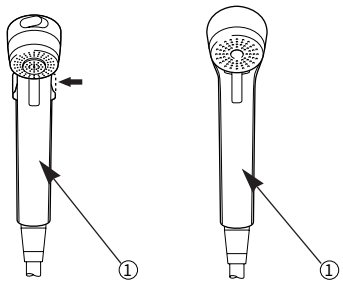
冬期凍結の恐れがある場合

アクアジェット・あわリズム・即湯システムについては、各取扱説明書をご覧ください。

洗い場側水栓の水抜き（寒冷地仕様の場合）

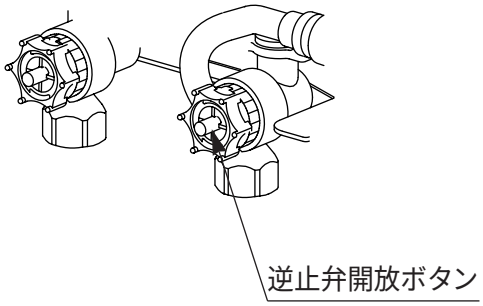
詳しくは、水栓の取扱説明書をご覧ください。
凍結が予想される場合は、次の手順で水栓の水抜きをしてください。

1 シャワーヘッド①を上段フックに掛け、シャワー吐水させます。

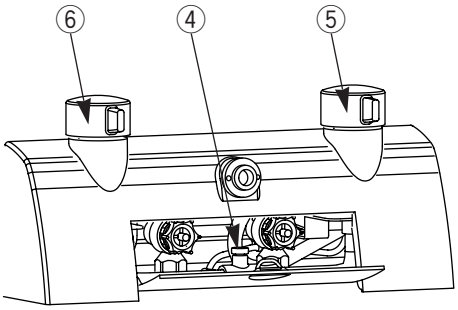


2 配管の水抜栓を操作します。

3 吐水口奥のフタを開け、逆止弁開放ボタン（2ケ）を押し、1分間以上放置してください。



4 本体の水抜栓④を開けます。



5 切替ハンドル⑤を吐水口側に回します。

6 温調ハンドル⑥を数回水側（青色）いっぱいから「45」側まで回します。

7 シャワーヘッド①を振って十分に水をきり、上段フックに掛けます。

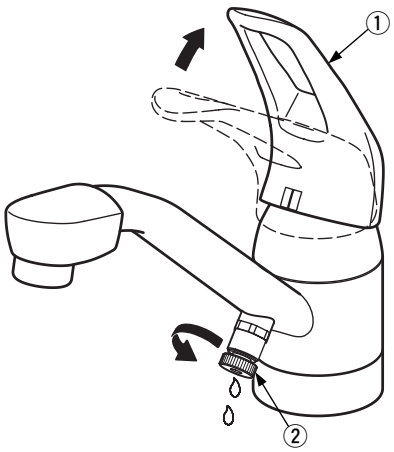
※再通水前には水抜栓④を閉じて、温調ハンドル⑥を40℃以下に戻してください。

浴槽側水栓の水抜き（寒冷地仕様の場合）

※シングルデッキ水栓のみとなります。
詳しくは、水栓の取扱説明書をご覧ください。

凍結が予想される場合は、次の手順で水栓の水抜きをしてください。

1. レバーハンドル①を上げます。
2. 水抜栓②を開けます。
3. レバーハンドル①を全開状態で数回、水側から湯側まで回します。
4. 水栓の水が抜けたら、レバーハンドル①を閉めます。
   ※開けたまま放置するとレバーハンドル①を閉止できなくなることがあります。無理な操作をせず通水または自然解凍してください。



※再通水前には水抜栓 ②を閉めてください。

故障かな？と思ったら

天井換気扇・換気乾燥暖房システム・温水式換気乾燥暖房機・アクアジェット・あわリズム・ヒーリングライト・即湯システムについては各取扱説明書をご覧ください。

※自動湯張りリモコン等の異常については給湯機器の取扱説明書または給湯機器本体にてメーカーをご確認のうえ、給湯機器メーカーへご連絡ください。

部位	現象	原因
水栓	水の勢いが弱い。	ストレーナーが目詰まりしている。
		給湯の能力が不足している。
	湯温が上がらないまたは変動する。	給湯器の設定温度が低い。
		給湯器の適水量が少なくて点火しにくい。
		給湯の能力が不足している。
		ストレーナーが目詰まりしている。
		サーモスタット水栓の温度調整がズレている。
	ルミナスサーモが水色に点滅している。	水温が極端に低い。（約2.5℃以下）
	ルミナスサーモが赤色に点滅している。	水温が最高設定温度より高い。（約45℃以上）
白熱灯	白熱灯が点灯しない。	電球がソケットにしっかりとはまっていない。
		電球の寿命が切れている。
フェイスライト	フェイスライトが点灯しない。	蛍光ランプがソケットにしっかりとはまっていない。
		蛍光ランプの寿命が切れている。
排水口	流したお湯がなかなか排水されない。	排水トラップまたはストレーナーが目詰まりしている。
浴槽	お湯がたまらない。	排水栓、ヘアキャッチャーが正しく取り付いていない。

※天井について
ハイドーム天井の樹脂製天井は材料の特性上、音が発生する場合がありますが、故障につながるものではありません。

確認方法・対応方法	参照頁
ストレーナーの掃除をします。	56
浴室以外でできるだけ同時に湯を使わないようにします。	
給湯器の設定温度を上げます。	
給湯器の設定温度を下げ、適水量を多くする。（給湯器の取扱説明書をご覧ください。）	
浴室以外でできるだけ湯を使わないようにします。	
ストレーナーの掃除をします。	56
温度調節ハンドルを設定しなおします。	
水温の目安としてください。	14
温度調節ハンドルを設定しなおします。	14
電球をソケットに確実にはめます。	60
電球を交換します。	60
蛍光ランプを確実にはめます。	62
蛍光ランプを交換します。	62
排水トラップまたはストレーナーの掃除をします。	54
排水栓およびヘアキャッチャーを正しく取り付けます。	48

左記の対応をしても直らないときは修理を依頼してください。

ハイドーム天井点検口フタの取外方

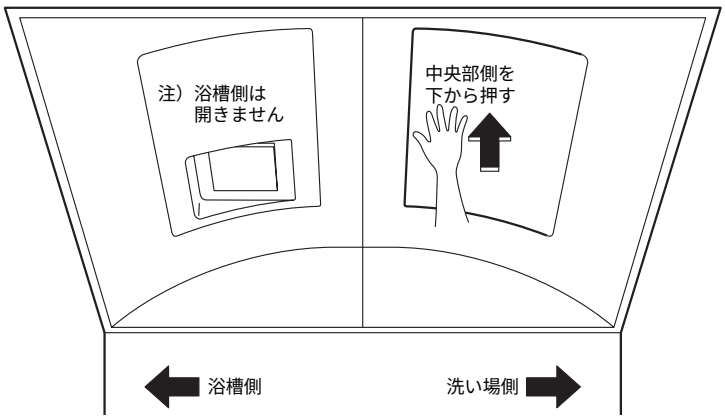
電気配線や配管関係等の点検・修理の際に工事業者様へお知らせください。

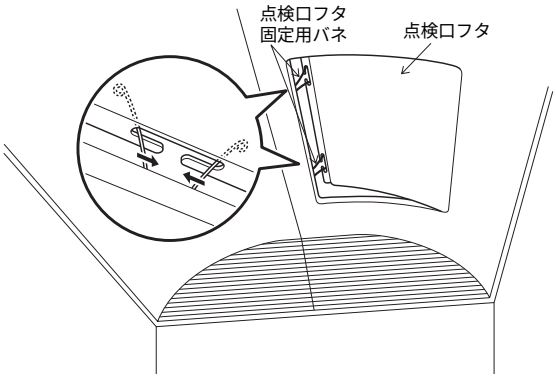
⚠ 注意

点検口は電気配線や配管関係等に異常が起きた場合、開けて点検・修理するためのものです。
ご自身で開けたり、天井裏に物等を置かないでください。
※ **火災・感電や漏水の原因**となります。

1

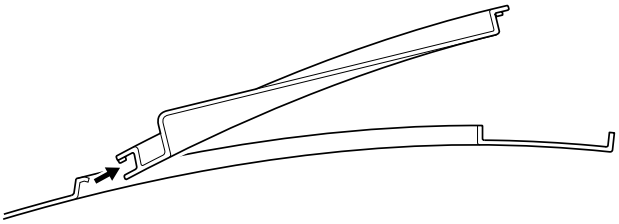
洗い場側点検口フタの中央よりを押し上げ、点検口フタを固定しているバネを内側につまんで、点検口フタから外します。





2

点検口フタを中央側にスライドさせると点検口フタが外れます。



3

点検口を再び取り付ける際は①②と逆の手順で取り付けます。

アフターサービスについて

1.修理を依頼される前に

商品が故障したら「故障かな？と思ったら」（70ページ）を参照してください。
それでも故障が直らない場合は、お求めの販売店または(株)INAXメンテナンスにご相談ください。
なお、不具合でなくても下記の場合はご相談ください。

- ●取扱説明書どおりに使用されても、まだ不明な点がある場合
- ●コードの傷みやコンセントのガタつき
- ●コンセントや電源プラグ、コード過熱

上記の場合、そのままにしておくと思わぬ事故につながるおそれがあります。必ずご相談ください。

⚠警告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
※発火したり、異常作動してケガをすることがあります。

2.保証と保証期間について

当システムバスルームは、建築会社様への引渡日より起算して、防水性能は5年間、防水性能以外については2年間を無償修理保証期間と致します。ただし、無償修理保証期間内でも、以下の事項は有料による修理とさせていただきます。

1. 取扱説明書に準拠しない取扱い、日常の維持管理を行わなかったことによるもの。
2. 施工説明書等に基づかない施工、専門業者以外による移動・分解等によるもの。
3. 不具合の原因が製品以外にある場合、およびユニットバスルーム工事範囲外に起因するもの。
4. 色あせ等の経年変化または使用に伴う磨耗等により生じる外観上の変化。
5. ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因するもの。
6. 火災、落雷、地震等の天変地異、公害、ガス害、塩害等に起因するもの。
7. 消耗品（パッキン、照明電球等）類。
8. 寒冷地仕様でない製品の場合の凍結によるもの。
9. 指定規格以外の電気を使用したことに起因するもの。
10. ユニットバスルーム工事範囲外の給水・給湯配管からのサビ等異物流入に起因するもの。
11. 温泉水・井戸水等水道関連法令に定める飲料用水質基準に適合しない水を給水したことに起因するもの。
12. 樹脂、金属に対して影響を与える洗剤、薬剤を使用したことに起因するもの。
13. アクアジェット・あわリズム・ヒーリングライトをご使用の場合において、浴槽浄化保温機（24時間バス）を使用されたことに起因するもの。

3.修理を依頼されるとき

修理を依頼されるときは再度本書をよくお読みいただき、ご確認のうえなお異常のあるときはお買い求めの販売店に修理を依頼してください。

保証期間中の修理

保証期間内は保証の規定にしたがって修理させていただきます。

保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望によって修理いたします。
料金の内訳は、技術料+出張料+部品代です。

連絡していただきたい内容

1.おなまえ・おところ・電話番号
2.商品名・品番←P.76の「品番を調べる」参照
3.取付年月日
4.故障内容・異常の状況（できるだけ詳しく）←P.70の「故障かな？と思ったら」参照
5.訪問ご希望日

修理の依頼先・アフターサービスについてのお問い合わせ先

お求めの販売店、または（株）INAXメンテナンスに連絡してください。

●お求めの販売店

●**（株）INAXメンテナンス**

365日受付＆修理

TEL 0120-1794-11
受付時間9：00～22：00

FAX 0120-1794-56

ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

4.部品の保有期間について

補修用性能部品の最低保有期間は、6年です。保有期間経過後の修理では、部品がない場合がありますのでご了承願います。

※補修性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5.定期点検のオススメ(有料)

有料となりますが、次のような場合は定期的に点検を受けていただくことをお勧めします。

●ご使用上支障がなくても長くお使いいただくため、お買上げより2年たったもの

●温泉地域および海岸付近等、特に腐食をおこしやすいところで使用されるもの

定期点検については、(株)INAXメンテナンスまでご相談ください。

点検料金の内訳は、点検料(技術料)+出張料+部品代(交換した場合)です。

6.浴室リフレッシュプラン(有料)のご案内

(株)INAXメンテナンスでは、

●浴室内の天井、壁、床、エプロン裏、水栓金具を用途にあった洗剤や研磨剤を使用して磨きあげる「バスルームオールリフレッシュ」

●日頃お手入れの行き届きにくい浴槽裏側の床面清掃を代行する「バスタブ下部洗浄」

等のサービス(有料)をご用意しております。

ぜひ、お気軽にお申し込みください。

お申込みに関するお問い合わせは、次のフリーダイヤルをご利用ください。

(株)INAXメンテナンス　365日受付＆修理

TEL 0120-1794-11

受付時間9:00～22:00

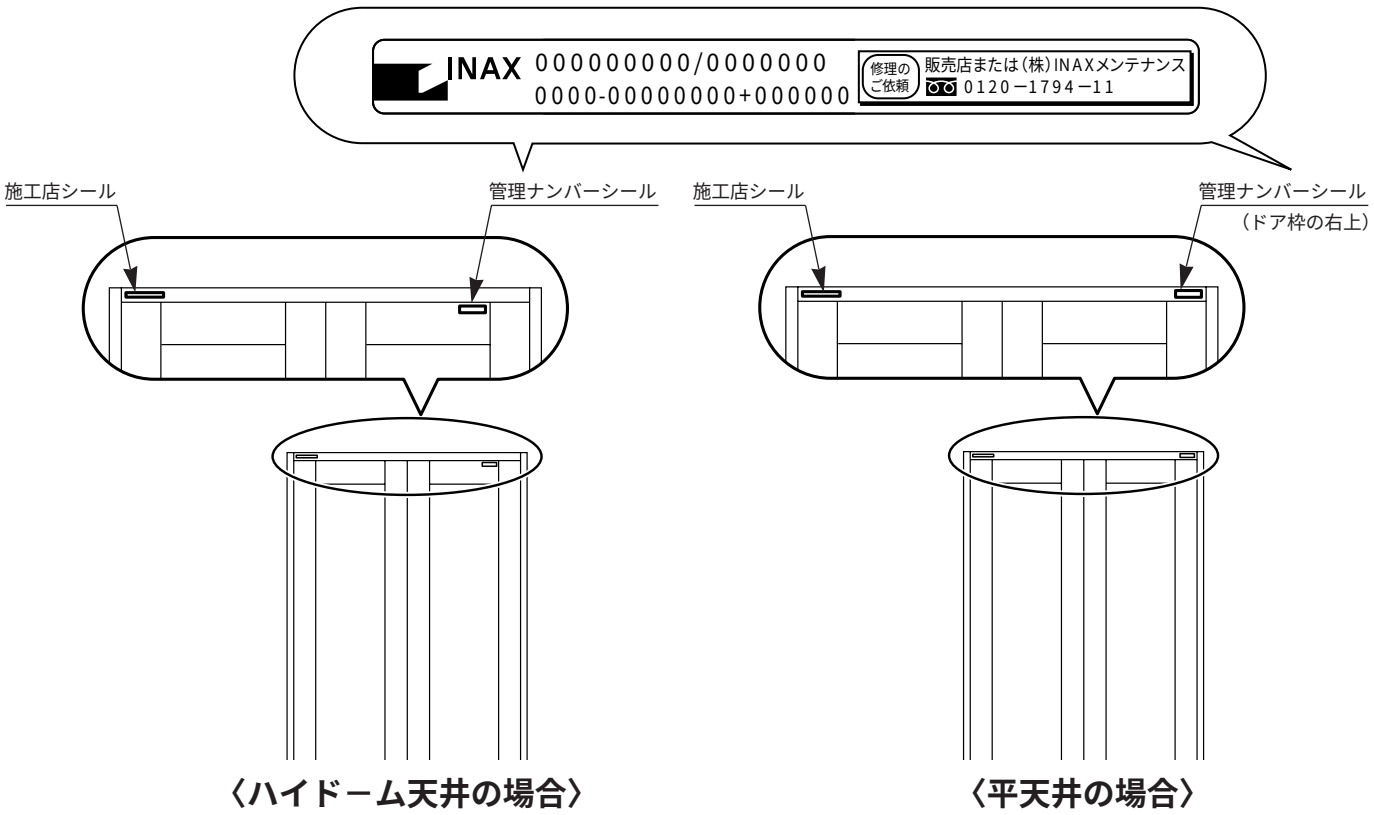
FAX 0120-1794-56

ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

品番を調べる・廃棄について

ドアに張ってあるシールを見る

浴室内ドア右側上部に張ってある管理ナンバーシールで品番をご確認ください。



〈ハイドーム天井の場合〉　〈平天井の場合〉

廃棄について

イデアトーン、エセンヌ、フェアトーン、FRP浴槽を廃棄処分される場合は、許可を受けている処理業者に処理を依頼してください。
詳しくは、お求めの販売店にご相談ください。

浴室内に使用している主要部材は、ご覧のとおりです。

部位	種類	材料
床	—	FRP（炭酸カルシウム、不飽和ポリエステル樹脂、ガラス繊維）
壁	タイル	陶器質、セメント系無機質板、鋼管
	エコセラージュ	セメント系無機質板（ゼロアスベスト）、鋼管
	Lパネル	塩化ビニール樹脂金属積層板もしくはポリエステル樹脂金属積層板、石膏ボード
天井	平天井	塩化ビニール樹脂金属積層板、石膏ボード
	ハイドーム天井	ポリスチレン
浴槽	イデアトーン	基材…FRP（炭酸カルシウム、不飽和ポリエステル樹脂、ガラス繊維）、アクリル樹脂
	エセンヌ	基材…不飽和ポリエステル樹脂、ガラスフリット、ガラス繊維
	フェアトーン	基材…不飽和ポリエステル樹脂、炭酸カルシウム、ガラス繊維
	FRP	炭酸カルシウム、不飽和ポリエステル樹脂、ガラス繊維
エプロン	—	HIPS
カウンター	—	ABS

INAX

保　証　書

品　　目　　名	システムバスルーム
シ　リ　ー　ズ　名	i-bath 2003

お客さま名	様
	住所 〒　　—
取扱店 または 販売店	無効　　印
	住所 〒　　—
	電話（　　）　　—
据付引渡日	年　　月　　日

無料修理保証期間
据付引渡日から2ヶ年 ただし防水性能*は据付引渡日から5ヶ年

＊防水性能とは「壁、床等から浴室外部への漏水を防ぐ性能」をいいます。

お客さまへ
保証書は再発行いたしませんので、紛失されないよう大切に保管してください。

無償修理規定（保証規定）

1. 「取扱説明書」・「注意ラベル」等の注意書に従った正常な使用・維持管理状態で無償修理保証期間内に故障した場合、無償修理いたします。
2. 無償修理をお受けになる場合、本書に記載の取扱店または販売店にご依頼のうえ、本書を提示ください。
3. 本書に記載の取扱店または販売店に修理を依頼できない場合は、取扱説明書に記載のお客さま相談センターまたは弊社の最寄りの支社、営業所にご相談ください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   ＊この保証書は本書に記載した期間、条件のもとにおいて、無償修理を行うことをお約束するものです。また本書によってお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。
   ＊無償修理保証期間経過後の修理等、ご不明の点がございましたら本保証書に記載の取扱店、または販売店や本取扱説明書に記載のお客さま相談センター、弊社の最寄りの支社、営業所にご相談ください。

{免責事項}

無償修理保証期間内でも下記の各項に該当する場合は有償修理とさせていただきます。

1. 住宅の用途以外（例えば船舶、車両や使用頻度の高い業務用）に使用した場合の故障、損傷等の不具合。
2. 取扱説明書に準拠しない取扱い、日常の維持管理を行わなかったことによる不具合。
3. 施工説明書等に基づかない施工、専門業者以外による移動・修理・分解等による不具合。
4. 引渡し完了後、入居までの間の管理等の不備による不具合。
5. 不具合の原因が躯体等製品以外にある場合、および浴室ユニット工事範囲外に起因する不具合。
6. 色あせ等の経年変化または使用に伴う磨耗等により生じる外観上の変化。
7. ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合。
8. 火災、落雷、地震等の天変地異、公害、ガス害、塩害等に起因する不具合。
9. 消耗品（パッキン、照明電球等）類。
10. 寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による不具合。
11. 指定規格以外の条件・環境（電気・ガス・燃料・水圧等）に起因する不具合。
12. 浴室ユニット工事範囲外の給水・給湯配管からのサビ等異物流入に起因する不具合。
13. 温泉水・井戸水等水道関連法令に定める飲料用水質基準に適合しない水を給水したことに起因する不具合。
14. 樹脂、金属に対して影響を与える洗剤、薬剤を使用したことに起因する不具合。
15. 本書の提示がない場合。
16. 保証書に必要と定めた事項の記入がない場合、または字句が書き換えられた場合。

株式会社INAX

使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問合せは

（株）INAX「お客さま相談センター」

TEL 0120-1794-00

受付時間　平日　　9：00～19：00
　　土日・祝日　10：00～18：00
　　（夏季、年末年始の休みは除く）

FAX 0120-1794-30

修理のご依頼は（本文の「アフターサービスについて」をお読みください）

お求めの販売店または
（株）INAXメンテナンス

365日受付＆修理

TEL 0120-1794-11

受付時間9：00～22：00

FAX 0120-1794-56

ホームページアドレス　http://www.i-mate.co.jp

INAXインターネット･ホームページ･アドレス http://www.inax.co.jp/

取扱店

GPU-0119(05077)